

インフロニア・ホールディングス
25年3月期 第1四半期 アナリスト向け決算説明会

August 9, 2024

1. 経営環境認識
2. 決算サマリー
3. 資本戦略・還元方針
／FY24 1Q時点の実績と通期見通し
4. インフロニア・ホールディングスの業績数値
【推移・前期比】
5. セグメント別の業績数値
6. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移
【建築、土木セグメント】
7. 一般管理費の増減の要因
8. 連結貸借対照表の増減の要因
9. 社債型種類株式について
【発行概要と特徴】

= Appendix =

セグメント別 ハイライト（個別）


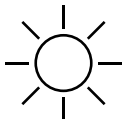



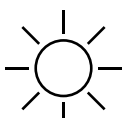
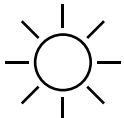
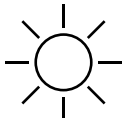
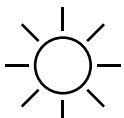
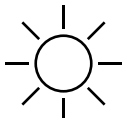
1. 建築セグメント
2. 土木セグメント
3. インフラ運営セグメント
 1. 前田建設工業
 2. 日本風力開発
4. 舗装セグメント
5. 機械セグメント

FY24 1Q実績とFY24通期計画

1. 前田建設工業
2. 前田道路
3. 前田製作所
4. 日本風力開発
5. 主なグループ会社

補足資料

市場環境や受注環境、資材価格等に関する当社の認識、対応

セグメント	市場	当社の状況	ポイント
建築			<ul style="list-style-type: none"> 設備投資は旺盛だが協力会社の確保に課題 計画的な受注戦略により受注高と受注時利益率は達成の見込み
土木			<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化に加え、防衛省やNEXCOなどの建設投資が旺盛 上記に加えて再エネ（日本風力開発関連）案件へ対応するため営業・施工体制を変え、引き続き採算性の良い受注を確保
インフラ運営			<ul style="list-style-type: none"> グリーン電力需要は増加し環境価値が向上。官民連携はアリーナやウォーターPPPが本格的に案件化 上流からの提案とパートナー戦略により着実に成果
舗装			<ul style="list-style-type: none"> 主に官庁工事の維持修繕工事が旺盛 営業体制のシフトにより順調に受注に成果
機械			<ul style="list-style-type: none"> 順調な建設投資もあり、国内外市場は堅調に推移 ICT建機、電動（EV）機械などの付加価値の高い製品で上積みを目指す

2. 決算サマリー

会社	セグメント	決算サマリー
インフロニア		<ul style="list-style-type: none"> FY24 1Q実績は、前年同期比で増収減益だが、計画通りに進捗中 (昨年度の土木セグメントにおける特殊要因や一般管理費増など) 各セグメントの業績は順調に進捗しており、通期計画は達成の見込み
前田建設	建築	<ul style="list-style-type: none"> 1Q実績は 前年同期比で増収増益 受注は順調に推移し、受注時利益率も高水準を確保、手持工事高は過去最高額を見込む
	土木	<ul style="list-style-type: none"> 1Q実績は 前年同期比で減収減益。前期の設計変更に伴う特殊要因を除けば、例年通りの進捗 受注高は概ね順調に推移しており、期末の手持ち工事高は直近3年で最高額の見込み
	インフラ運営	<ul style="list-style-type: none"> 1Qでコンセッション案件（スタジアム、アリーナ）を3件落札 スポーツエンタメ、水事業系のコンセッションや再エネ案件の売却へ今後も注力していく
日本風力開発		<ul style="list-style-type: none"> 将来への収益力向上に向けて、引き続き案件開発に注力
前田道路	舗装	<ul style="list-style-type: none"> 1Q実績は 前年同期比で増収増益。直近3年で売上および利益で最高額を達成 建設・製造事業共に受注高、売上高が高水準で推移しており、通期計画は達成の見込み
前田製作所	機械	<ul style="list-style-type: none"> 1Q実績は前年同期比で大幅な増収を達成 受注高も順調に推移し、通期計画は達成の見込み
その他		<ul style="list-style-type: none"> 1Q実績は前年同期比で減益。工期遅延や物価高騰が主な要因。2Q以降に回収できる計画のため、通期計画は達成の見込み

株主還元

- **1株当たりの配当額60円**（中間30円+期末30円）を予定（**配当性向42.4%を見込む**）

政策保有株

- FY24中に**250億円以上を売却**し、**純資産割合20%以下**を目指す。

Medium-term Vision 2024 (2025年3月期までの中期経営計画)			FY23末時点	FY24 1Q時点	備考
資本効率	ROE	9.5%	8.6%	9.0% (通期)	引き続き成長投資を行い、事業利益の向上を目指す。
最適 資本構成	自己資本比率	30%以上	28.4%	29.3% (1Q) 35.3% (通期)	日本風力開発の子会社化に係る資金調達により有利子負債が増加したが、FY24は社債型種類株式発行により改善を見込む(P.11-12参照)
	D/Eレシオ	0.6倍以下	1.1倍	1.18倍 (1Q) 0.9倍 (通期)	
株主還元	配当性向	30%以上	46.0%	42.4% (通期)	1株当たり配当額 60円を予定 (中間30円+期末30円)
	自己株式の 取得	FY24までに 400億円以上	FY21~23 累計400億円	—	FY23時点で中期経営計画の目標を前倒しで達成
	総還元性向	—	78.4% (自己株式の取得 を含む)	44.4% (通期)	FY24通期計画 配当性向42.4% + 地球への配当 2.0% (自己株式の取得は除く)
資産 効率化	政策保有株/ 純資産割合	20%以下	25.8%	23.9% (1Q) 20%以下 (通期)	FY24で250億円を売却予定。 純資産比率20%以下を目指す。 売却方針は次頁参照
	保有資産の 売却	グループ保有資産の利用状況等を精査し、非効率な資産の売却・統合を実施			

**政策保有株式
の売却方針**

今期目標 前田建設保有分を**250億円以上売却**（対純資産保有率を20%以下）

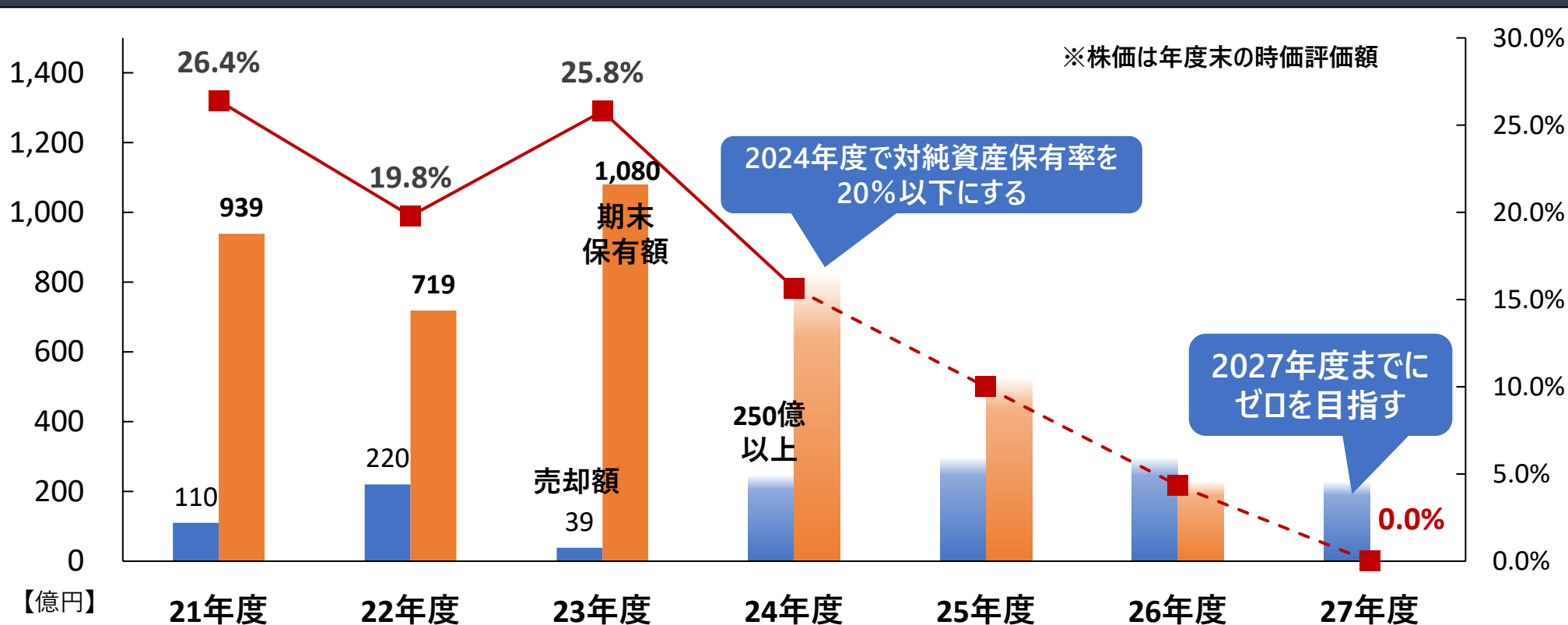
最終目標 2027年度までに**インフロニアグループ全体でゼロ**とする

**売却による資金
の分配方針**

財務規律と資本効率を意識した分配を実施

→具体的な分配方針は**次期中期経営計画までに決定次第公表**

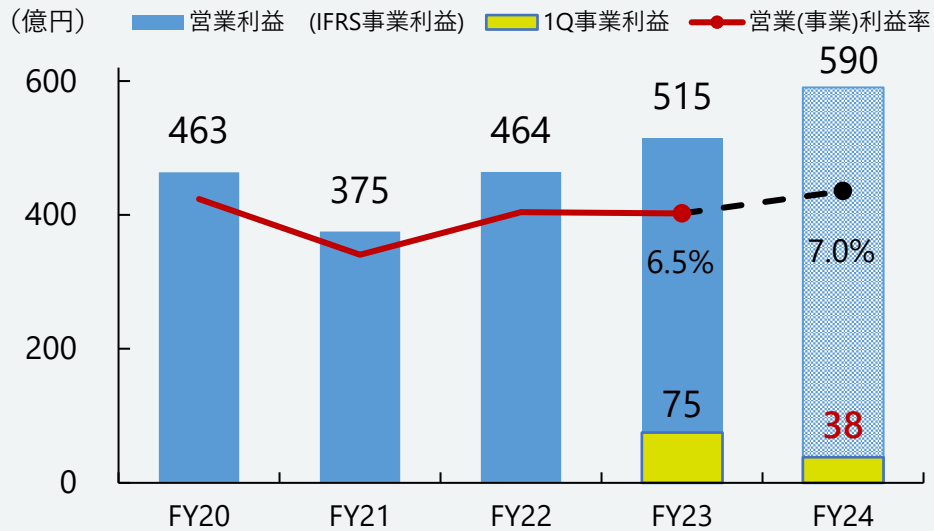
インフロニアグループ 政策保有株式売却額と対純資産保有率の推移



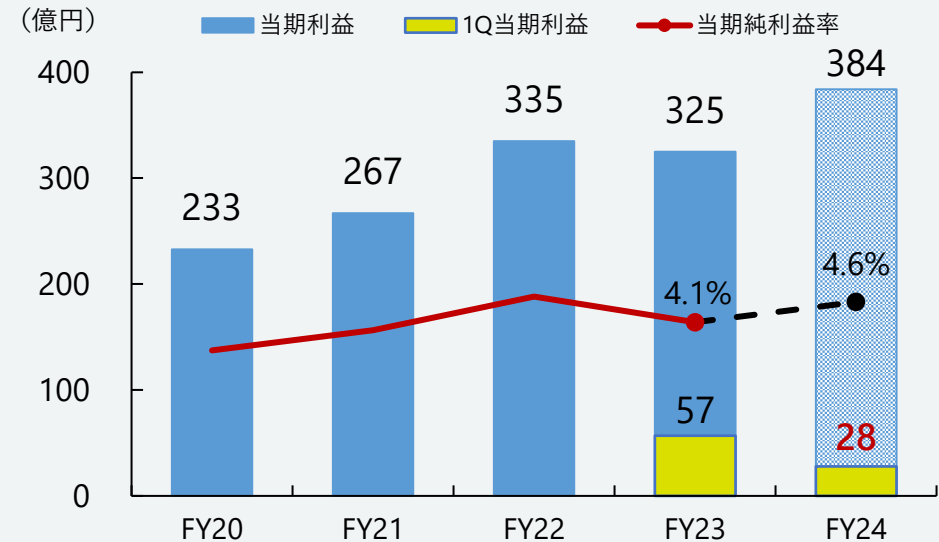
4-1. インフロンニア・ホールディングスの業績数値の推移

- 事業利益、当期純利益、EBITDA、付加価値額は通期で**過去最高額**を見込む

営業利益/事業利益

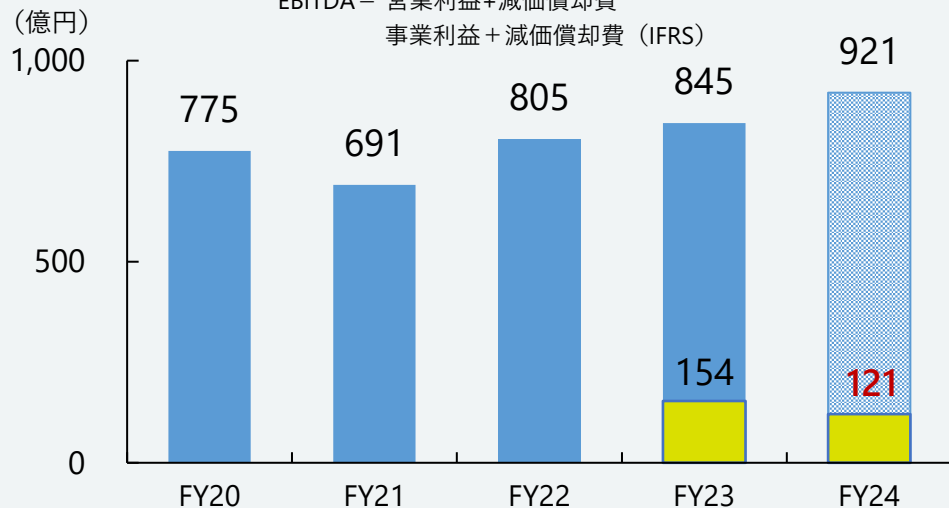


当期利益^{※1}



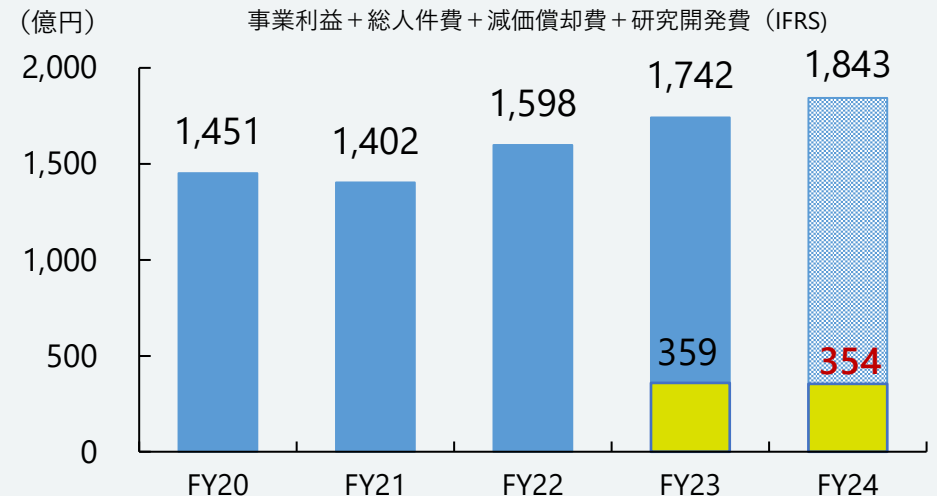
EBITDA

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費
事業利益 + 減価償却費 (IFRS)



付加価値額

付加価値額 = 営業利益 + 総人件費 + 減価償却費 + 研究開発費
事業利益 + 総人件費 + 減価償却費 + 研究開発費 (IFRS)



※ FY22以降はIFRSによる数値

※1 親会社の所有者に帰属する当期利益

4-2. インフロンニア・ホールディングスの業績数値の前年比

- FY24 1Q実績は、前期の設計変更獲得の特別な要因を除いて、主に日本風力開発グループ加入に伴う一般管理費の大幅な増加が要因となり、**前年同期比で増収減益**となった
- FY24通期計画は、各セグメントで順調に推移しており**通期計画は達成**する見込み

(億円)

	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	前年 同期比	進捗率	FY23 通期実績	FY24 計画	前期比
売上高	1,636	1,783	148	21.2%	7,933	8,399	466
売上総利益	209 (12.8%)	198 (11.1%)	△11	15.8%	1,119 (14.1%)	1,251 (14.9%)	132
一般管理費	135 (8.3%)	160 (9.0%)	25	23.6%	621 (7.8%)	677 (8.1%)	56
EBITDA	154 (9.4%)	121 (6.8%)	△33	13.1%	845 (10.7%)	921 (11.0%)	76
事業利益	75 (4.6%)	38 (2.1%)	△37	6.4%	515 (6.5%)	590 (7.0%)	75
その他の収益	2	3	0	—	17	12	△5
その他の費用	1	6	5	—	21	12	△9
営業利益	76 (4.6%)	34 (1.9%)	△42	5.8%	511 (6.4%)	590 (7.0%)	79
金融収益	14	14	△0	—	30	0	△30
金融費用	6	12	6	—	47	23	△24
当期利益 ^{※1}	57 (3.5%)	27 (1.5%)	△29	7.1%	326 (4.1%)	384 (4.6%)	58
自己資本	3,609	3,937	—	—	3,999	4,267	—
ROE	—	—	—	—	8.6%	9.0%	—
ROIC	—	—	—	—	4.0%	—	—
WACC	—	—	—	—	3.7%	—	—
EPS	—	—	—	—	130.5円	153.9円	—

※1 親会社の所有者に帰属する当期利益

5. セグメント別 業績数値の前年比

INFRONEER Holdings Inc.

(億円)

		FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	前年 同期比	進捗率	FY23 通期実績	FY24 計画	前期比
売上高		1,636	1,783	148	21.2%	7,933	8,399	466
建築		487	613	126	20.9%	2,737	2,933	196
土木		348	308	△ 40	20.5%	1,624	1,503	△ 121
舗装		577	599	22	23.3%	2,518	2,570	52
機械		86	96	10	23.4%	398	409	11
インフラ 運営	MK	41	49	8	15.1%	173	322	149
	JWD	-	11	-	12.3%	11	87	76
その他		97	109	11	18.9%	472	575	103
売上総利益		209 (12.8%)	198 (11.1%)	△ 11	15.8%	1,119 (14.1%)	1,251 (14.9%)	132
建築		34 (6.9%)	41 (6.6%)	7	13.0%	224 (8.2%)	313 (10.7%)	89
土木		76 (21.8%)	52 (17.0%)	△ 24	18.6%	424 (26.1%)	280 (18.6%)	△ 144
舗装		66 (11.4%)	70 (11.7%)	4	19.2%	311 (12.3%)	363 (14.1%)	52
機械		19 (21.9%)	20 (20.8%)	1	21.4%	85 (21.4%)	93 (22.7%)	8
インフラ 運営	MK	7 (15.9%)	6 (13.1%)	△ 0	5.6%	29 (16.6%)	114 (35.4%)	85
	JWD	-	3 (24.0%)	-	6.3%	6 (55.3%)	41 (47.1%)	35
その他		8 (8.6%)	6 (5.7%)	△ 2	13.2%	40 (8.5%)	47 (8.2%)	7
事業利益		75 (4.6%)	38 (2.1%)	△ 37	6.4%	515 (6.5%)	590 (7.0%)	75
建築		△ 8 (-1.6%)	△ 4 (-0.7%)	4	-3.1%	43 (1.6%)	136 (4.6%)	93
土木		48 (13.9%)	23 (7.5%)	△ 25	15.3%	296 (18.2%)	152 (10.1%)	△ 144
舗装		30 (5.2%)	30 (5.0%)	△ 0	15.1%	148 (5.9%)	197 (7.7%)	49
機械		4 (4.8%)	4 (3.7%)	△ 1	16.1%	19 (4.7%)	22 (5.4%)	3
インフラ 運営	MK	1 (2.2%)	△ 1 (-1.7%)	△ 2	-1.2%	△ 2 (-1.3%)	69 (21.4%)	71
	JWD	-	△ 8 (-71.9%)	-	-770.6%	△ 2 (-19.7%)	1 (1.1%)	3
その他		△ 0 (-0.5%)	△ 6 (-5.4%)	△ 5	-45.6%	12 (2.6%)	13 (2.3%)	1

※MK：前田建設、JWD：日本風力開発

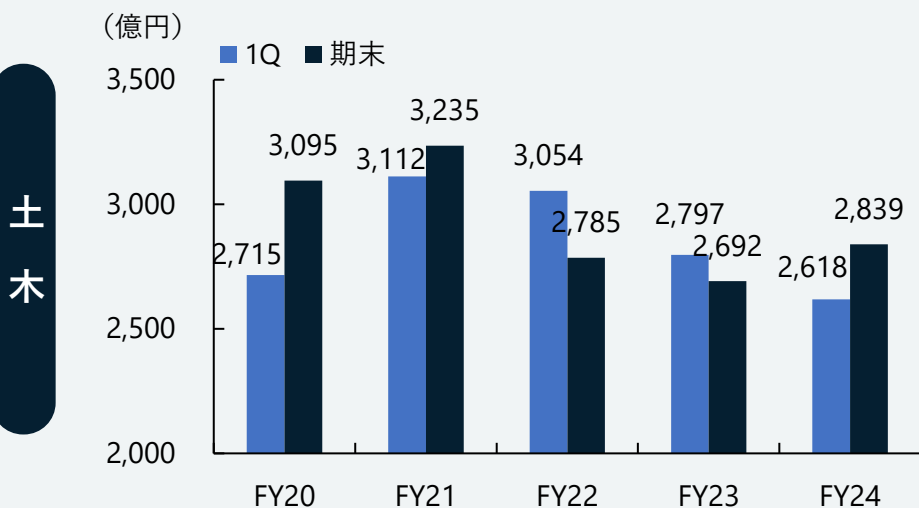
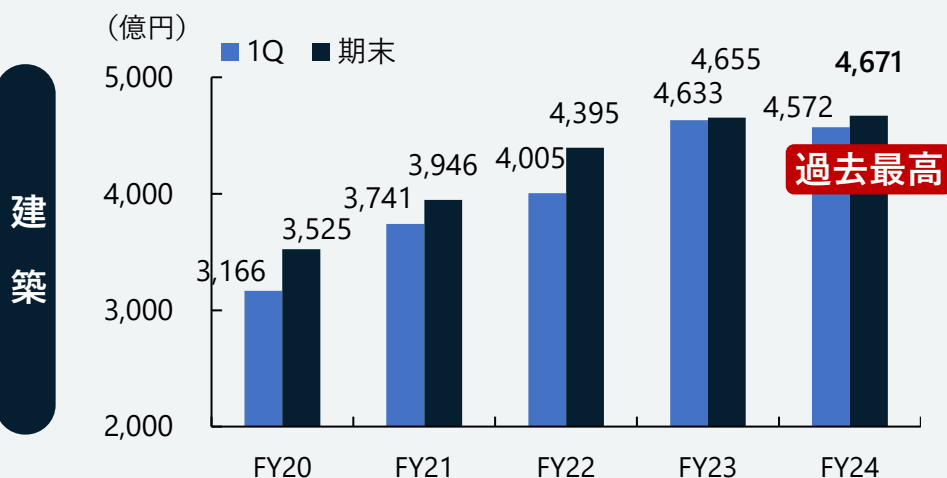
※舗装セグメントはPPA資産の償却が加味されています

※インフラ運営セグメントのJWDはPPA資産の償却が加味されています

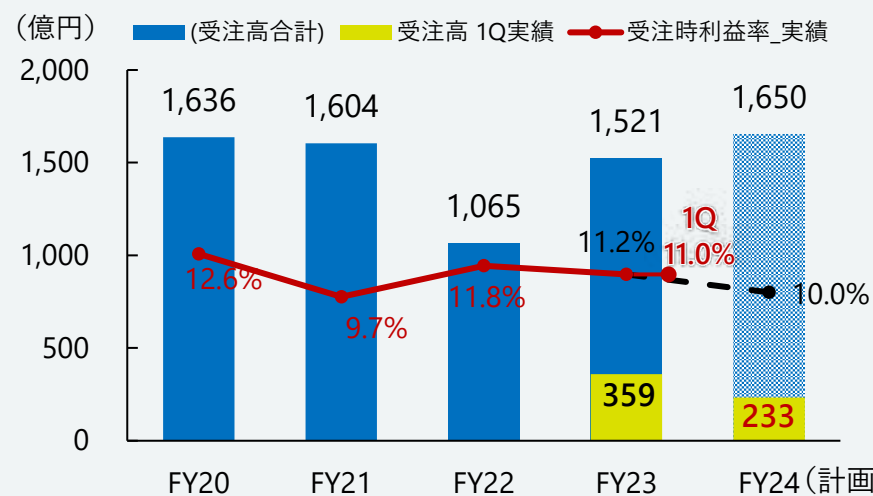
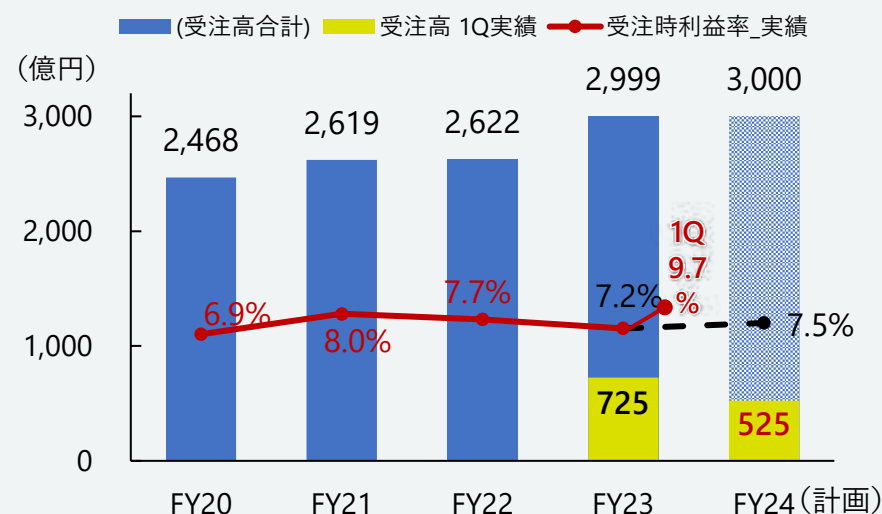
6. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移 【建築、土木セグメント】

- 建築の1Q受注高は**順調**に推移し、**受注時利益率も高水準**を確保。
期末での手持工事高は**過去最高額**を見込む
- 土木の1Q受注高は概ね**計画通り**進捗し、**受注時利益率も高水準**を維持。
期末での手持工事高は直近3年で**最高額**を見込む

手持工事高*



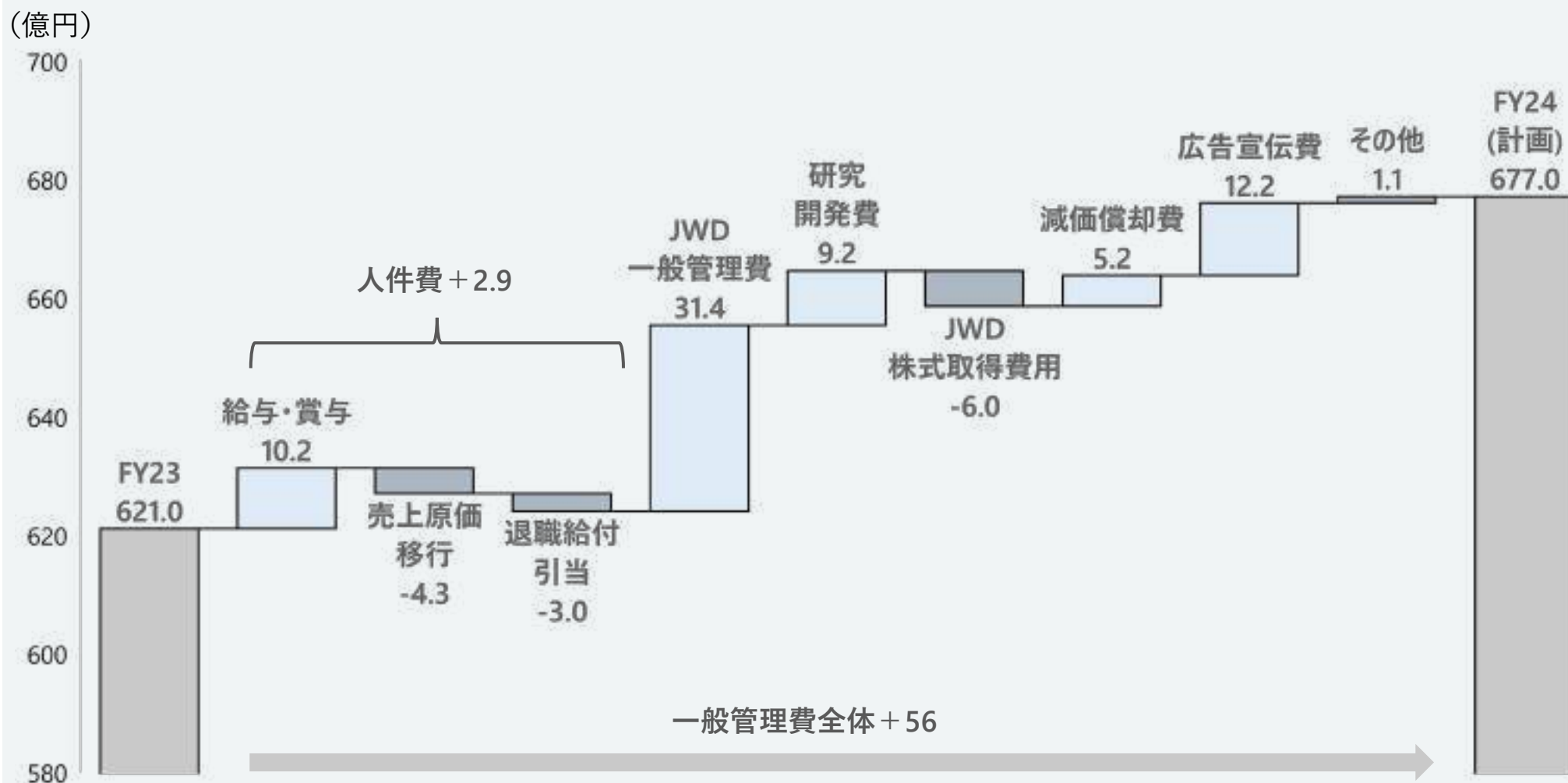
受注高・受注時利益率*



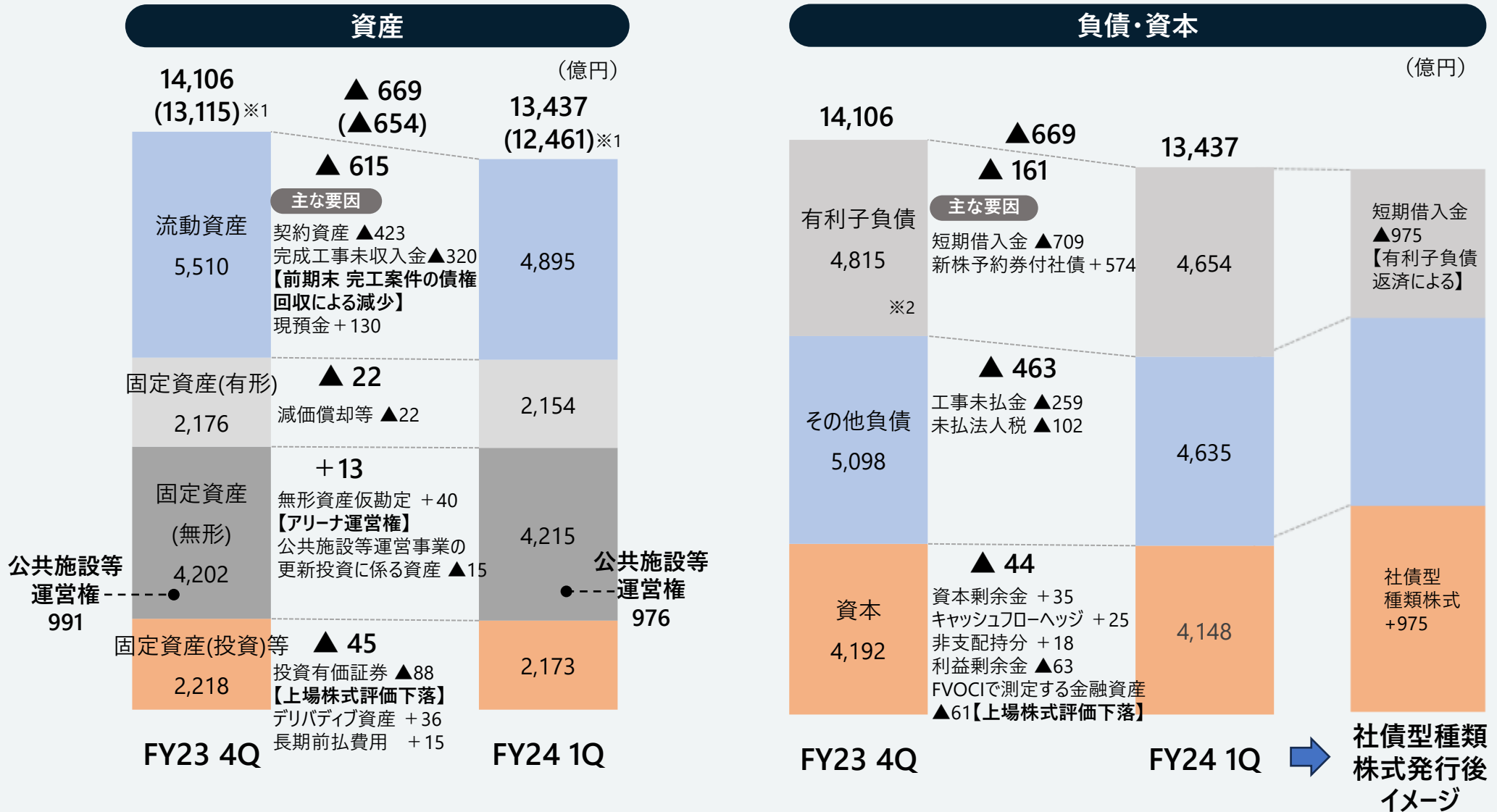
※前田建設の業績数値

7. FY24一般管理費 増減の主な要因

- 日本風力開発 完全子会社化に伴い、一般管理費が増加
- 広告宣伝費については、B.LEAGUEとのパートナーシップ契約の締結に伴い増加。これは、コンセッション事業を始めとする官民連携・インフラビジネスのノウハウを活かした、地方創生に寄与する取り組みが目的。



8. 連結貸借対照表の主な増減の要因



FY23 4Q時点

ROA 2.3%
(2.5%)^{※1}

FY24 通期見込み

ROA 2.7%
(2.9%)^{※1}

※1 ()・・・公共施設等運営権を除いた数値

※2 有利子負債 = 短期借入金、長期借入金、ノンリコース借入金 (1年以内返済予定も含む)、社債

※3 公共施設等運営権：コンセッション事業などの数年にわたって公共施設を運営する権利の譲渡を受ける際に支払われる対価

9-1. 第1回社債型種類株式の発行概要

	主な発行概要			
発行決議日、発行日、 上場日	発行決議日：2024年6月25日（火）	発行日：2024年8月1日（木）	上場日：2024年8月2日（金）	
発行価格、発行株数、 発行総額、単元	発行価格：5,000円	発行株数：2,000万株	発行総額：1,000億円	1単元：100株
優先配当（年率）	2030年3月31日まで：固定配当（年2.600%）		2030年4月1日以降：変動配当（1年国債金利+3.022%）	
	普通株式に優先	未払配当は繰延（累積）	非参加（発行時に決めた配当以外は支払われない）	
残余財産の分配請求権	普通株式に優先し、発行価格（+未払配当、経過配当金）を支払い、この他の残余財産の分配を行わない（非参加型）			
金銭対価の取得条項 （発行会社のコール）	下記の場合、発行会社は全部又は一部の本種類株式を発行価格（+未払配当、経過配当金）で取得できる （① 2029年8月1日以降、② 資本性変更事由が生じた場合）			
借換制限	あり（但し、例外規定あり）			
普通株式への転換請求権 （株主の転換権）	転換請求権なし			
議決権	議決権なし			
株式の併合、 分割又は無償割当	法令に別段の定めのある場合を除き、種類株式には株式の併合または分割を行わない。募集株式または募集新株予約権の割当を受ける権利を与えず、株式または新株予約権の無償割当を行わない。 株式移転をするとき（当社の単独による場合に限る）は、普通株主には株式移転完全親会社の同種の株式を、種類株主には同種の株式を、同一の割合で交付する			
その他	東証プライム市場（証券コード：50765、呼値：1円、 制度信用銘柄）		格付上の資本性：50%（JCR）	
引受証券会社	野村證券（1,000万株）、みずほ証券、SMBC日興証券（各400万株）、大和証券（200万株）			

- 議決権の希薄化が生じない、上場「社債型」種類株式
- 会計上/格付上のいずれも資本を拡充し、原則として、2029年8月1日以降に当社による取得が可能
- 第1回社債型種類株式は本邦初となる、「グリーン社債型種類株式」として発行



※1 配当年率は、2030年3月31日までは固定（2.600%）とし、2030年4月1日以降は変動の基準金利に3.022%を加えた率とします。

※2 本社債型種類株式は、発行時に定めた優先配当金以上の配当が行われない「非参加型」の商品性です。

※3 本社債型種類株式は、未払の優先配当金がある場合に未払分を翌期以降に繰り越して支払う「累積型」の商品性です。

Appendix

セグメント別ハイライト

建築
前田建設

土木
前田建設

インフラ運営
前田建設（連結）

インフラ運営
日本風力開発（連結）

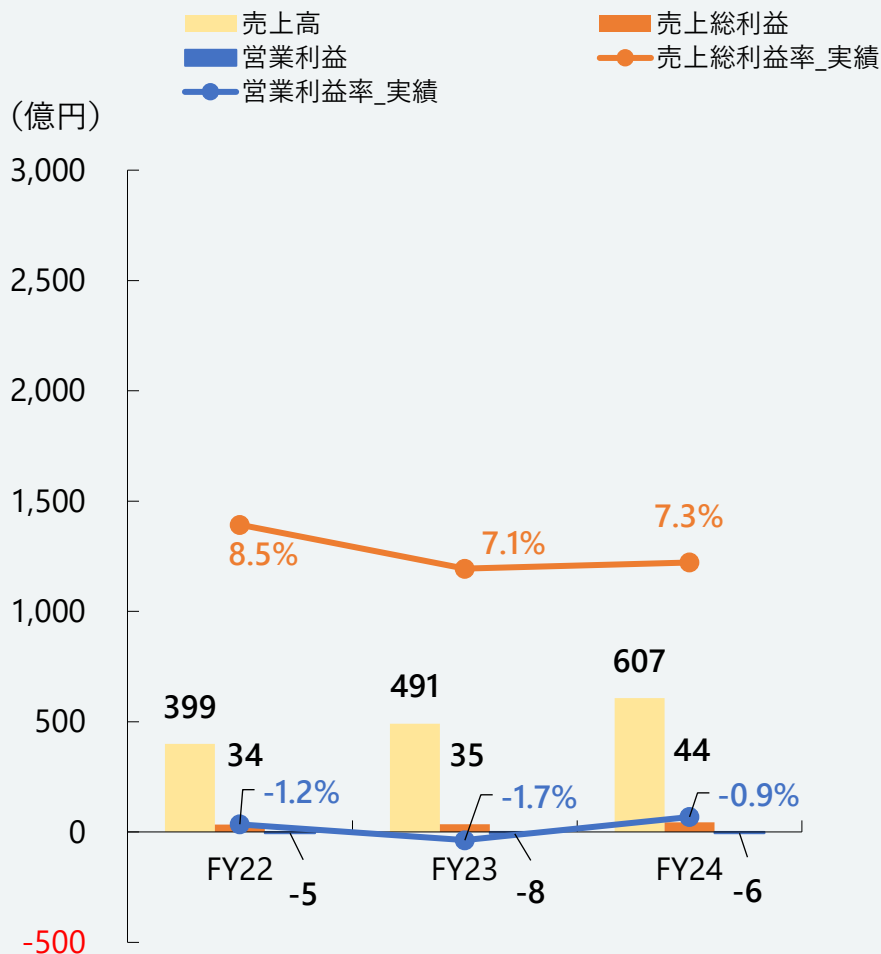
舗装
前田道路（連結）

機械
前田製作所（連結）

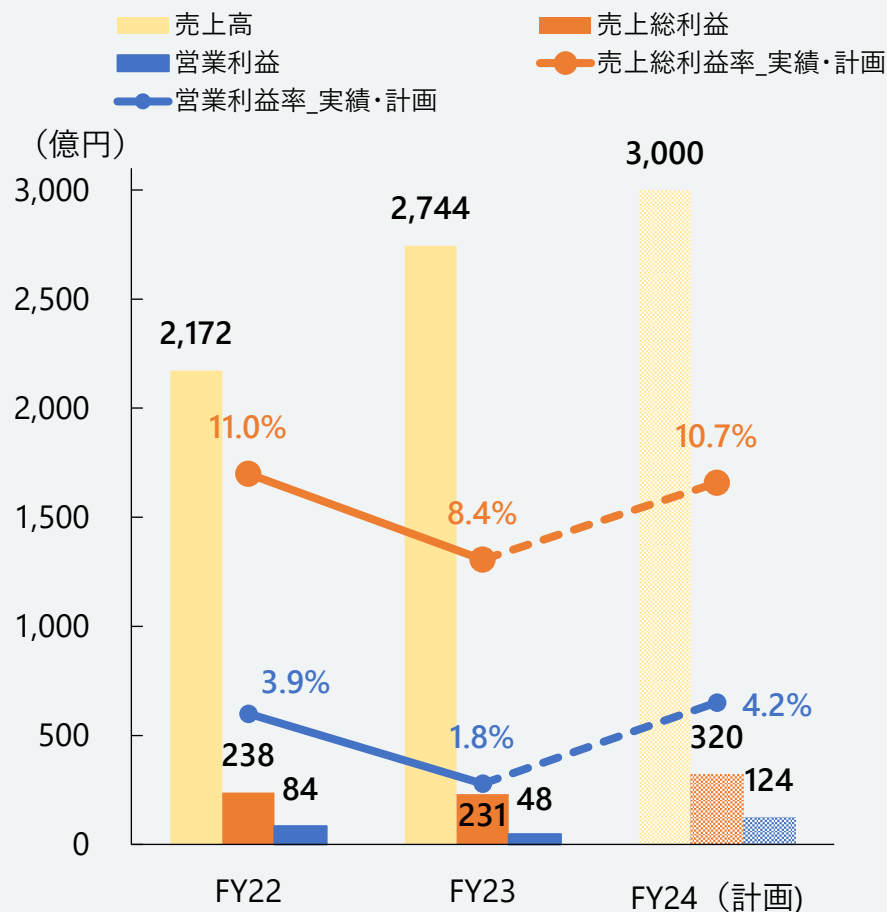
1-1. 【前田建設 個別 ※不動産含む】 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY24 1Q 期首手持工事量が多く、順調に工事が進捗したため売上高、売上総利益額ともに前年比で**増収増益**となった
- FY24 通期 今後も手持工事が順調に進捗することに加え、新規受注工事の利益率も高い水準を確保できており**増収増益**を見込む
工事完成基準の大型工事の完工もあり、売上総利益は**過去最高の320億円**を見込む

第1四半期※



通期※

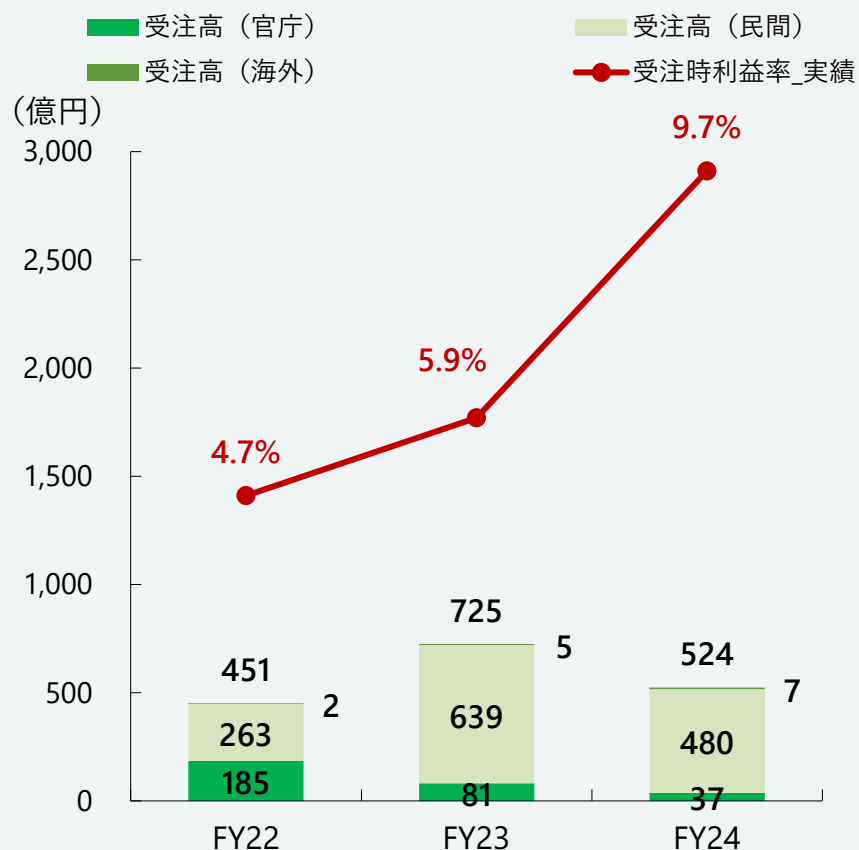


※海外の主要現地法人の売上高、売上総利益はインフロニア・ホールディングス その他セグメントに含まれる。

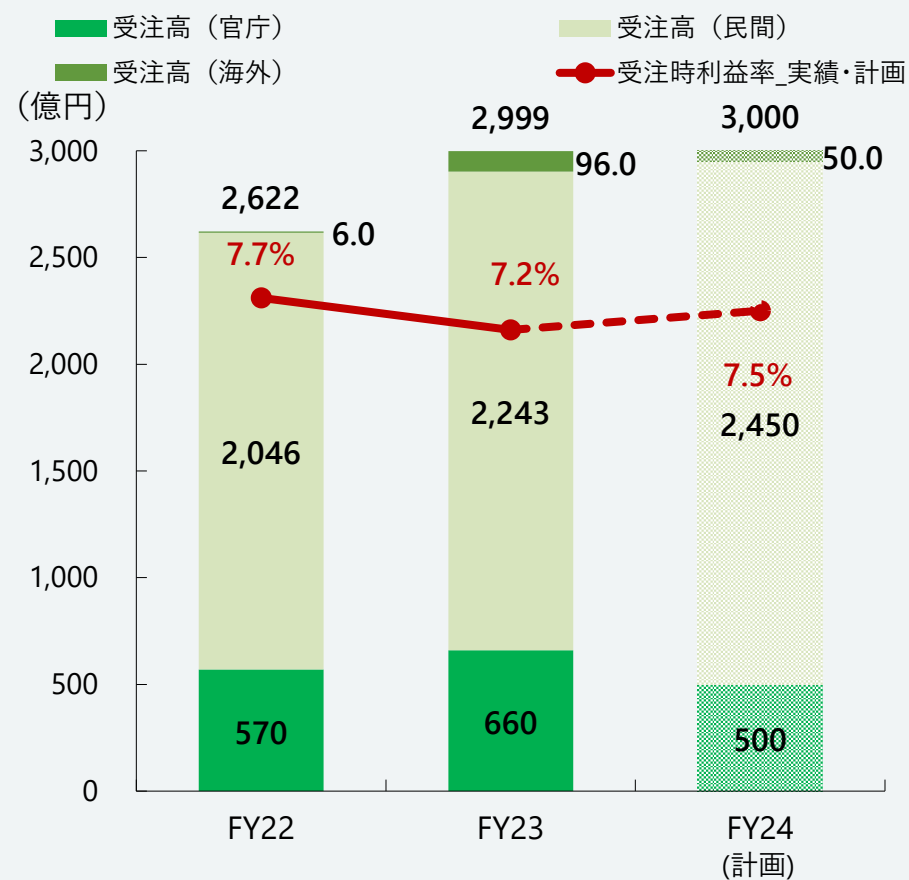
1-2. 【前田建設 個別 ※不動産含む】 受注高と受注時利益率の推移

- FY24 1Q 受注高は3,000億円に向け順調である。受注時利益率は**高水準を確保**
- FY24通期 FY24は期首時点で2,000億円を超える受注確度の高い営業情報を確保

第1四半期※

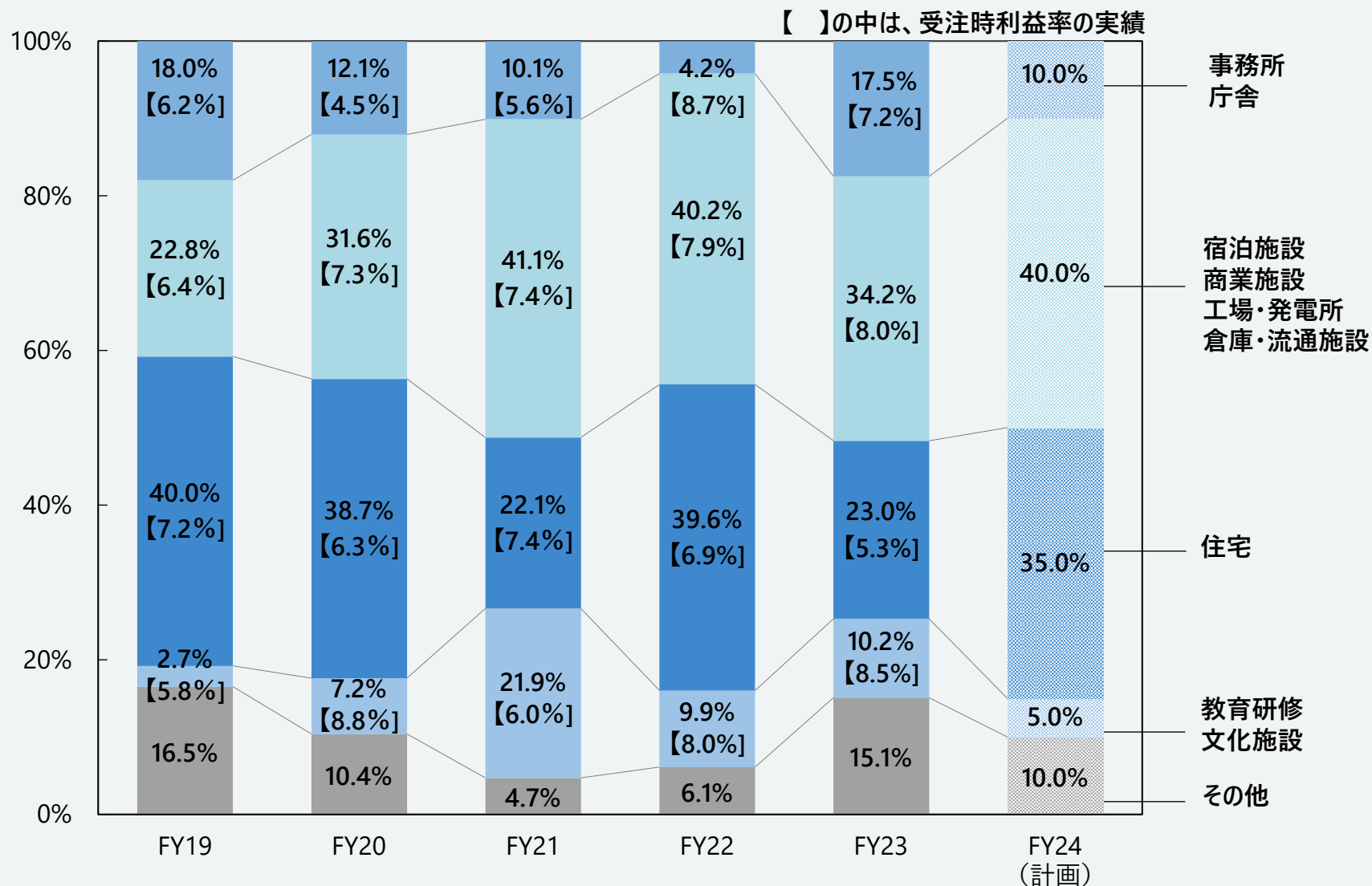


通期※



1-3. 【前田建設 個別 国内】 建物用途別 受注比率の推移

- FY24 1Q 「倉庫・流通施設」「研究施設」の民間大型案件が受注をけん引
- FY24通期 大型の住宅と物流施設により「住宅」「倉庫・流通施設」の比率が高まる見込み



建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

舗装

機械

セグメント別ハイライト

建築
前田建設

土木
前田建設

インフラ運営
前田建設（連結）

インフラ運営
日本風力開発（連結）

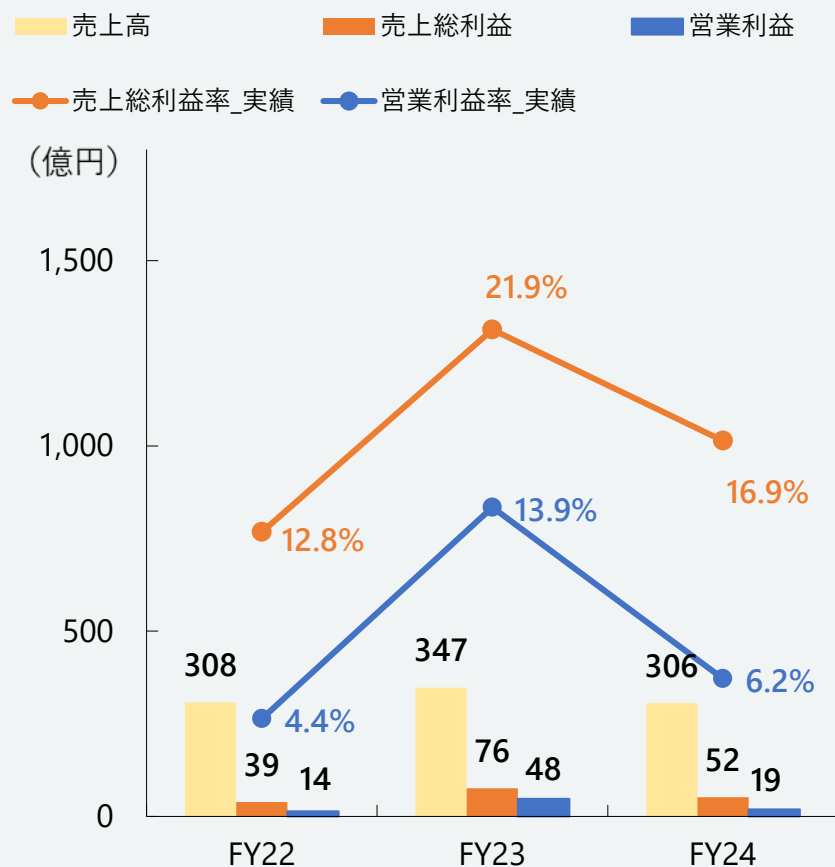
舗装
前田道路（連結）

機械
前田製作所（連結）

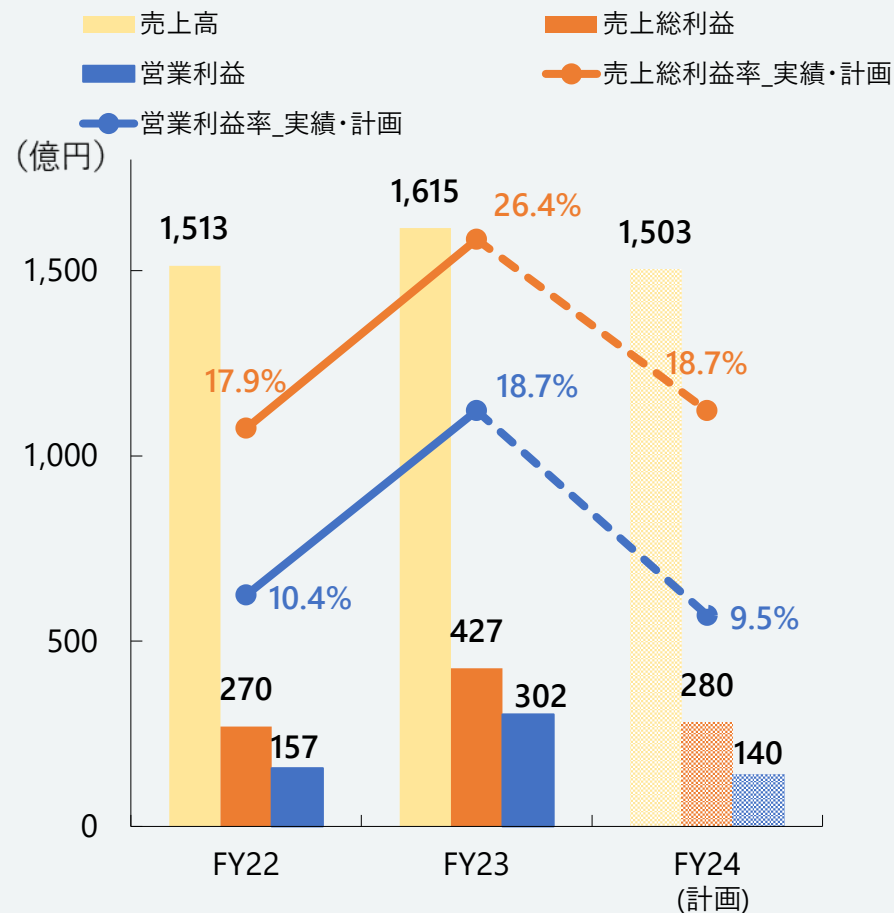
2-1. 【前田建設 個別】 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY24 1Q 期首手持工事の大型物件の施工高が伸びず、前期比で減収減益となった
- FY24通期 全工事において、本支店が一体となって円滑な施工を支援し、進捗状況の改善と設計変更の獲得額の増加により、完工高と利益の向上を目指す

第1四半期



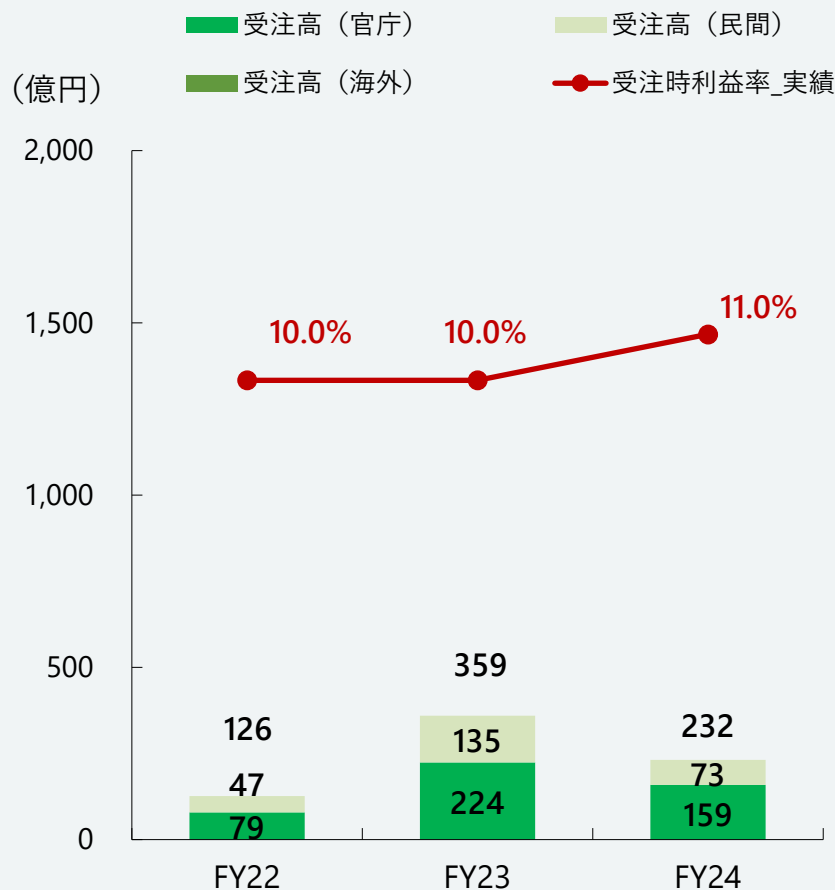
通期



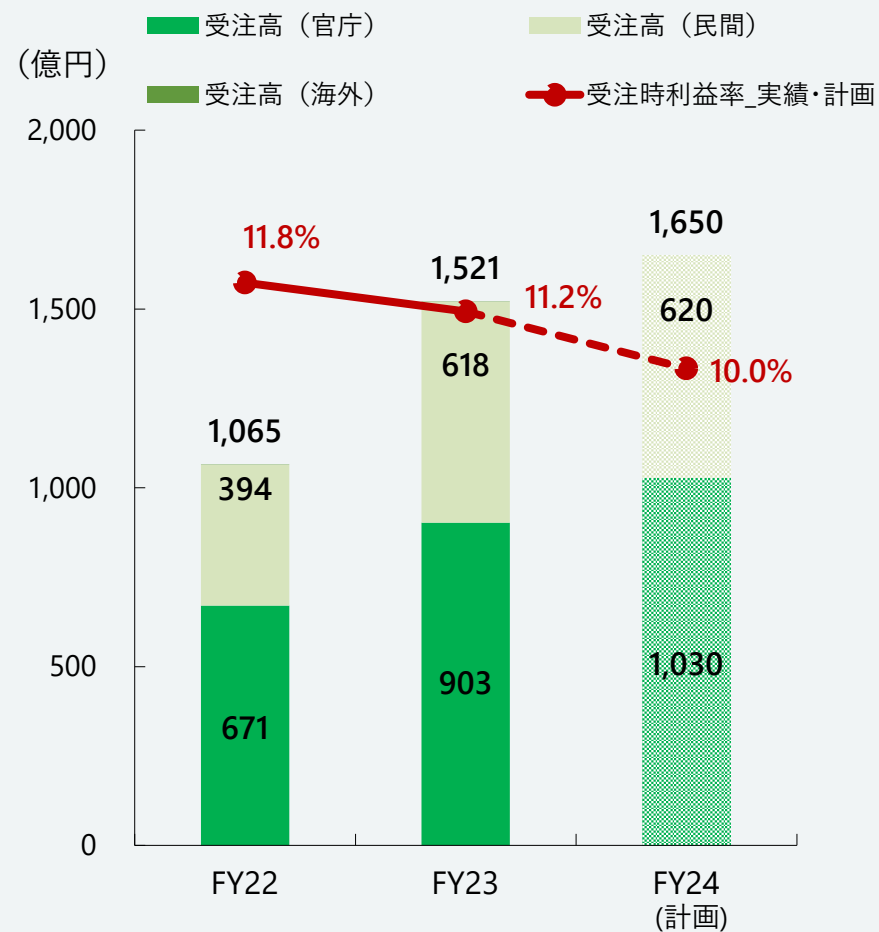
2-2. 【前田建設 個別】 受注高と受注時利益率の推移

- FY24 1Q 前期比減少となるも計画通り進捗、受注時利益率は**高水準を維持**
- FY24通期 対応可能な応札体制の整備、案件の選定を行い受注を確保すると共に、設計変更を獲得**通期計画達成**を見込む

第1四半期



通期



セグメント別ハイライト

建築
前田建設

土木
前田建設

インフラ運営
前田建設（連結）

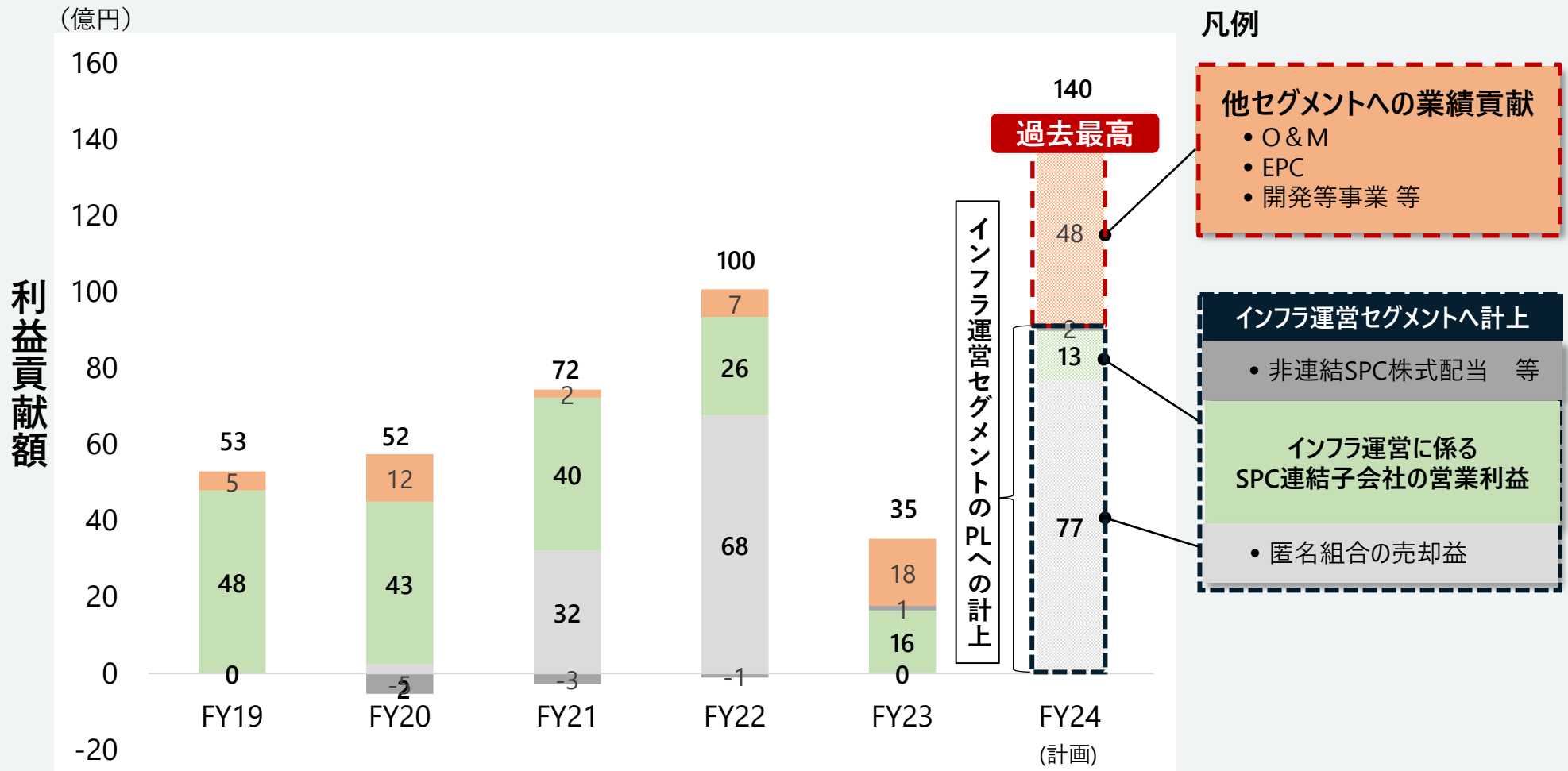
インフラ運営
日本風力開発（連結）

舗装
前田道路（連結）

機械
前田製作所（連結）

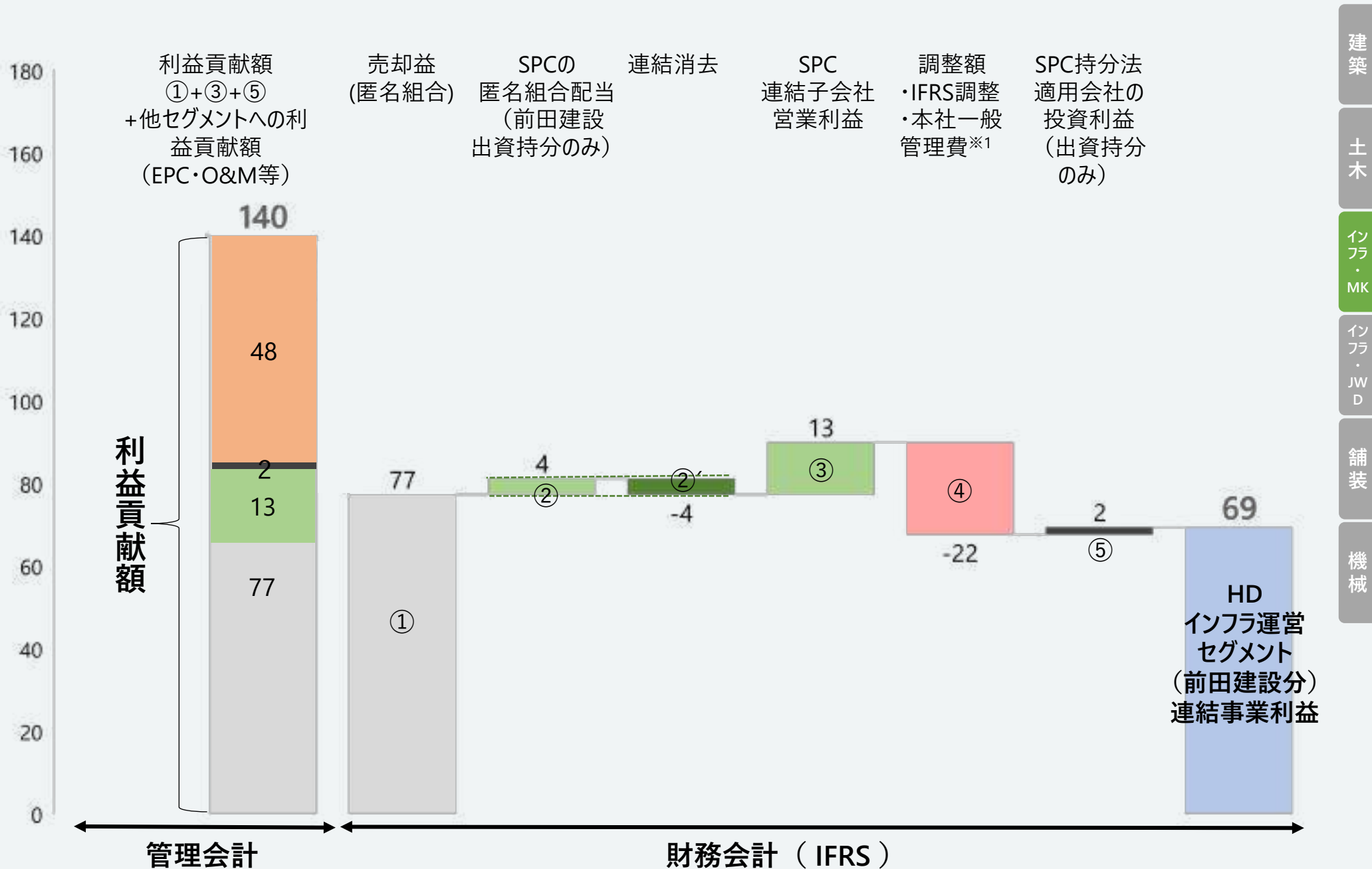
3-1-1. 【前田建設 連結】 利益貢献額について

- FY24は、**再生可能エネルギー案件及び開発案件の売却**を予定
- 通期の利益貢献額は、**過去最高額の140億円**となる見込み



※1 O&M インフラの維持管理に伴う運転管理業務・維持管理業務等
 ※2 EPC インフラ運営事業に伴う設計・調達・建設工事等の一括請負業務
 ※3 詳細はP.43参照

3-1-2. 【前田建設 連結】 FY24 通期計画内訳



※1 SPC連結子会社ならびにSPC持分法適用会社の一般管理費を除く、前田建設ならびにホールディングスのインフラ運営セグメントに係る一般管理費

3-1-3. 主なグループ会社（インフラ運営）のFY24 1Q実績と通期計画

前田建設工業

(百万円)

連結子会社 (インフラ運営セグメント)	愛知道路コンセッション(株) ※1			みおつくし工業用水コンセッション(株) ※1			三浦下水道コンセッション(株) ※1		
	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	FY24 通期計画	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	FY24 通期計画	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	FY24 通期計画
売上高	3,642	3,772	15,982	346	332	1,721	46	48	242
営業利益	415	392	2,131	49	37	124	11	13	14
経常利益	126	118	1,041	46	34	113	9	12	8
当期純利益	111	105	948	32	18	75	7	8	6

持分法 適用会社	仙台国際空港(株) ※2			愛知国際展示場(株) ※3		
	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	FY24 通期計画	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	FY24 通期計画
売上高	982	1,086	4,603	172	303	1,034
営業利益	112	91	271	1	104	197
経常利益	109	91	270	-3	102	186
当期純利益	126	88	335	-34	67	123

※1 日本基準・単体

※2 日本基準・単体、当社出資持分：49%

※3 日本基準・単体、当社出資持分：30%

建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

舗装

機械

3-1-4. 国内の主なインフラ運営事業

POINT

- ✓ 様々なインフラサービスにおける確かな実績
- ✓ 民間の強みを活かし、効率的な一括管理を実施

コンセッション事業

9 事業

(FY23 4Q時 6 事業)

PFI事業等

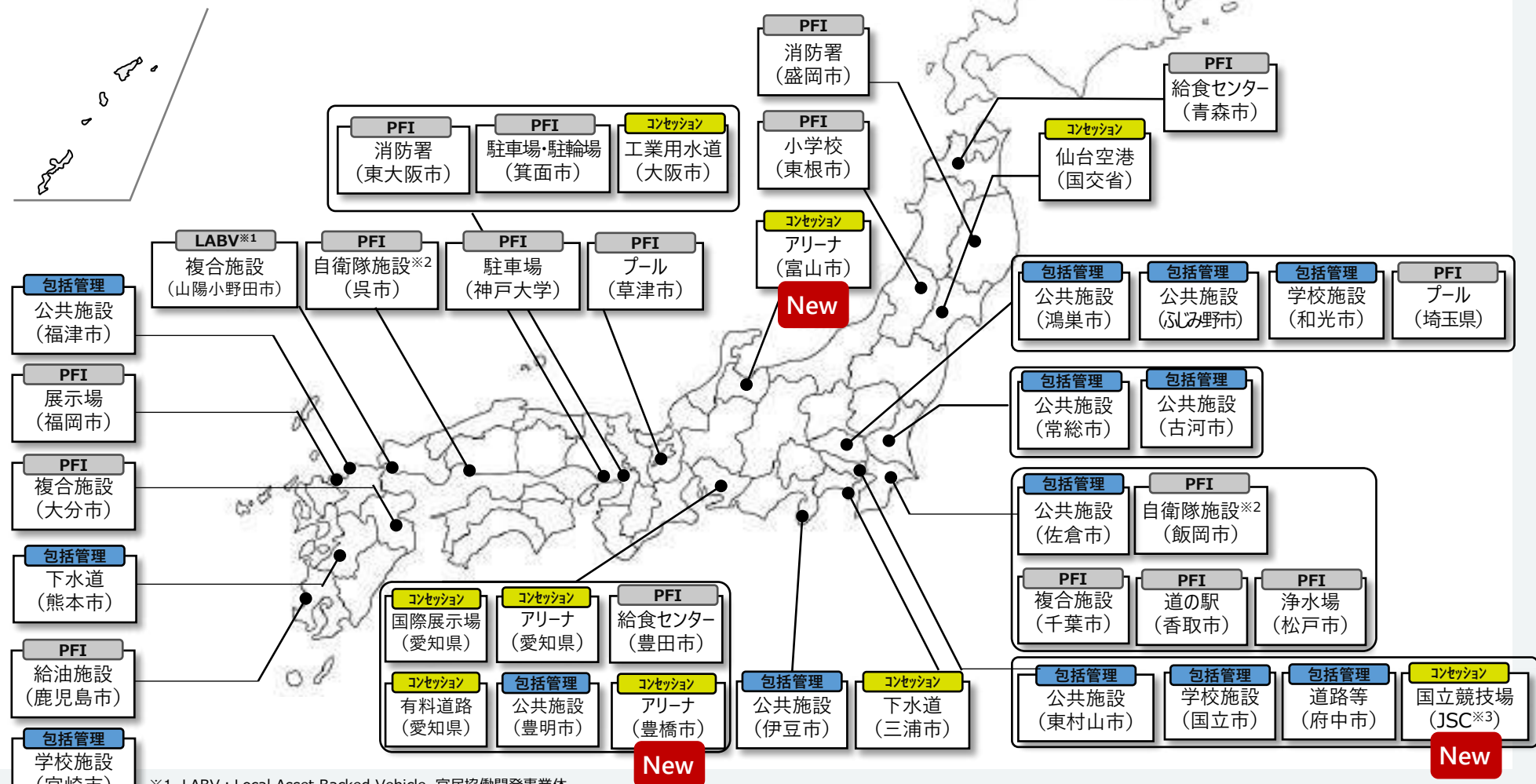
17 事業

(FY23 4Q時 17 事業)

包括的民間委託

14 事業

(FY23 4Q時 14 事業)



※1 LABV : Local Asset Backed Vehicle 官民協働開発事業体
 ※2 自衛隊施設 (飯岡市/呉市) は 2 施設で 1 事業
 ※3 JSC : JAPAN SPORT COUNCIL 日本スポーツ振興センター

建築
 土木
 インフラ・MK
 インフラ・JWD
 舗装
 機械

セグメント別ハイライト

建築
前田建設

土木
前田建設

インフラ運営
前田建設（連結）

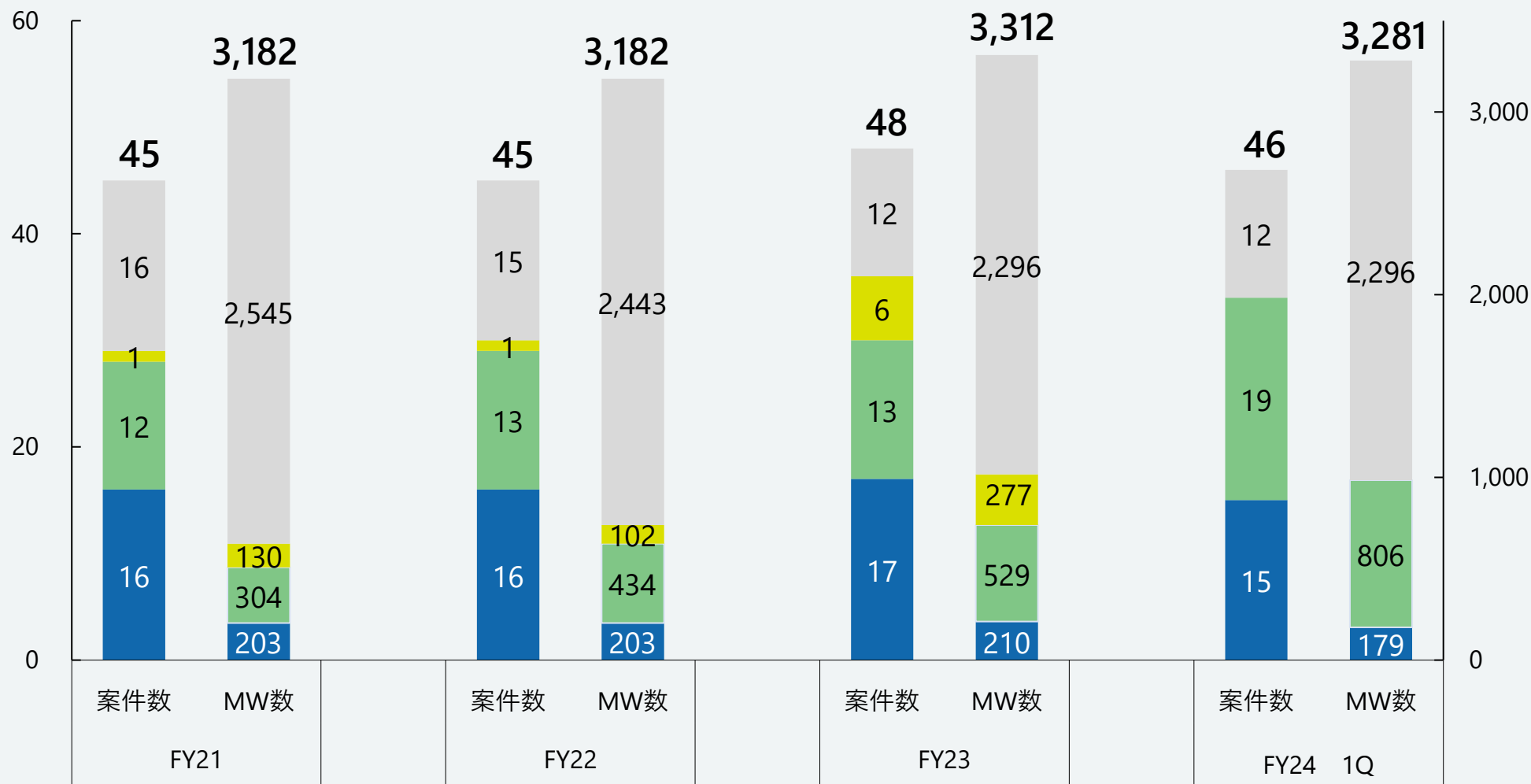
インフラ運営
日本風力開発（連結）

舗装
前田道路（連結）

機械
前田製作所（連結）

3-2-1. 日本風力開発の運営中および開発中案件の推移

- FIT/FIPを取得し、各案件の開発を着実に進めている
- FY24 1Q時点ではFY21比でFIT/FIP取得済案件の開発が約370MW増加しており、今期も案件の確度を上げる取り組みを継続する



■ 開発中 (入札予定 非FIT/FIP) ■ 開発中 (新規FIT/FIP取得) ■ 開発中 (FIT/FIP取得済) ■ 運営中

建築
土木
インフラ・MK
インフラ・JWD
舗装
機械

3-2-2. 日本風力開発の取り組みプロジェクトの状況

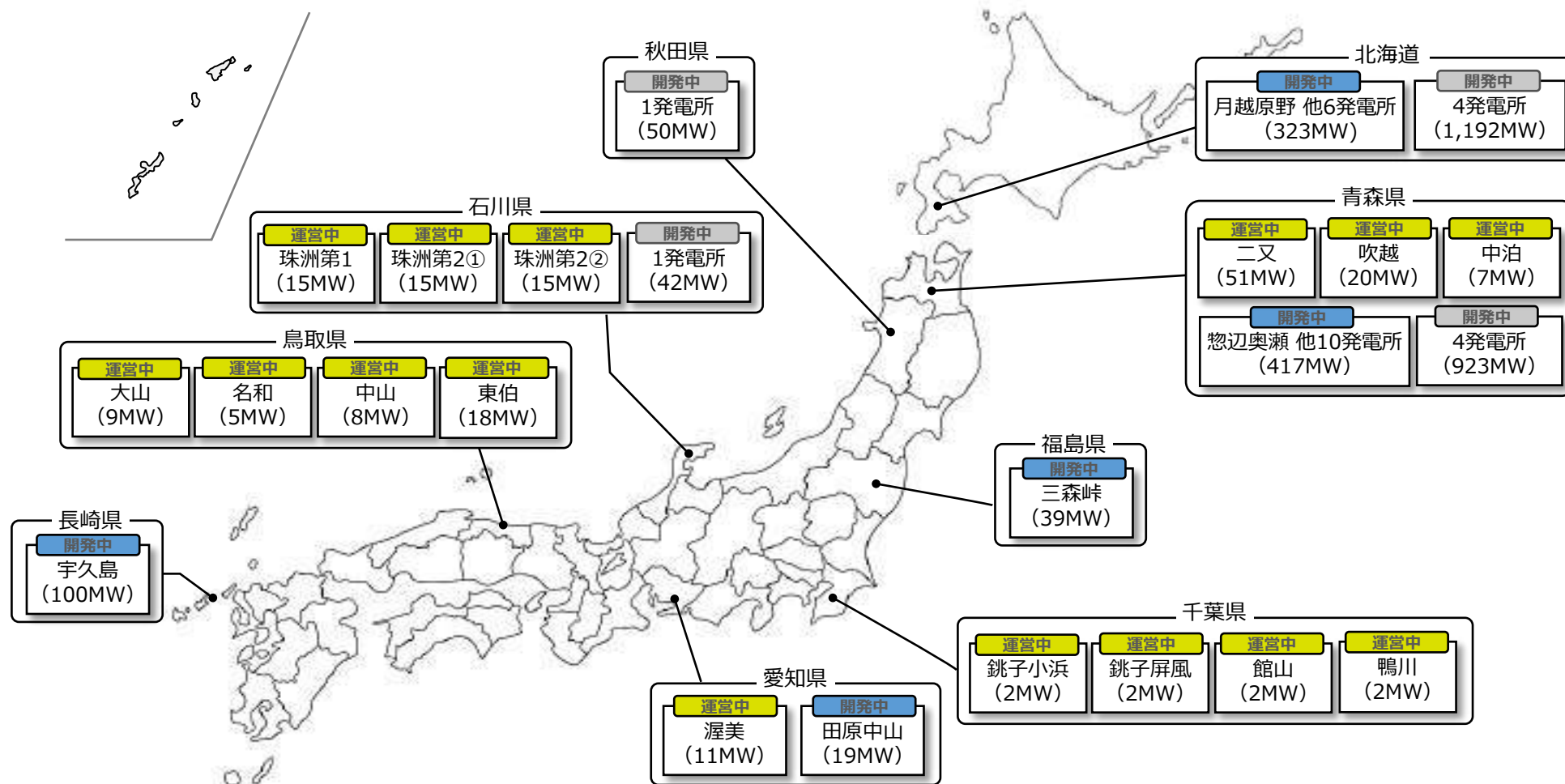
POINT

- ✓ 開発から運営まで、風力事業のすべてのフェーズを自社グループで対応
- ✓ 地域との共生を第一に、常に地域と対話をしながら開発を推進

運営中
180 MW

開発中 (FIT/FIP取得済)
※落札済案件含
800 MW

開発中 (入札予定
・非FIT/FIP)
2,300 MW



建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

舗装

機械

セグメント別ハイライト

建築
前田建設

土木
前田建設

インフラ運営
前田建設（連結）

インフラ運営
日本風力開発（連結）

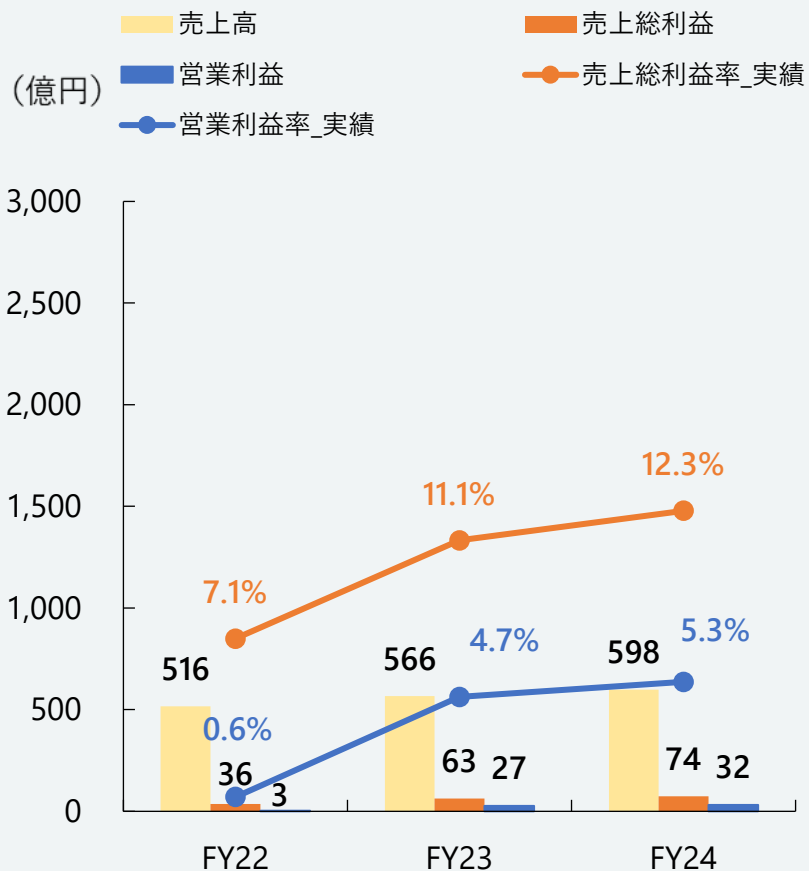
舗装
前田道路（連結）

機械
前田製作所（連結）

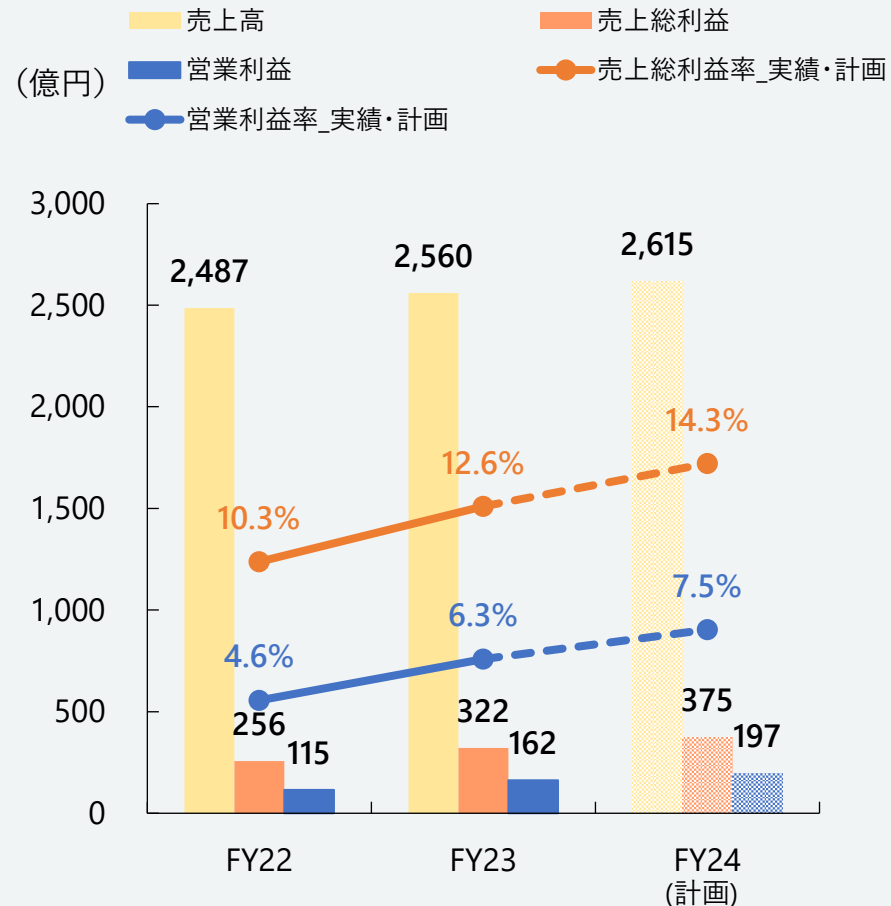
4-1. 【前田道路 連結】 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY24 1Q 主に建設事業における、豊富な繰越工事により**前年同期比増収増益**
- FY24通期 建設事業における受注時利益率の更なる改善
製造販売事業においては適切な販売単価を設定することで、**計画達成**の見込み

第1四半期



通 期*

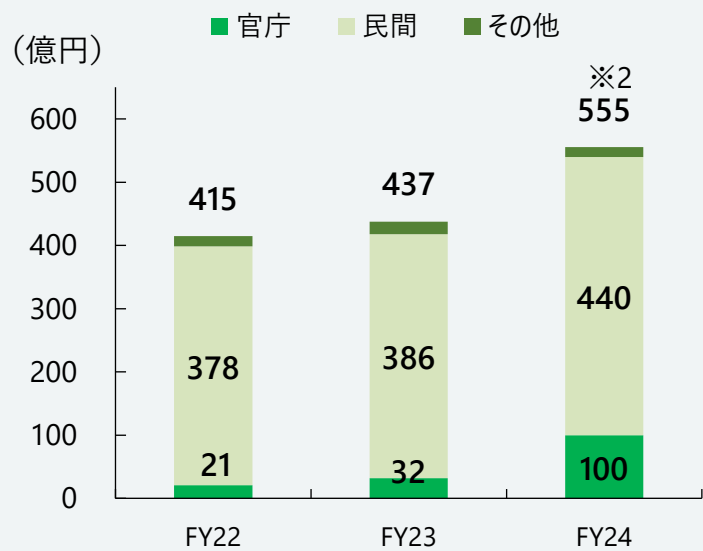


※上記数値は、前田道路の従来の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

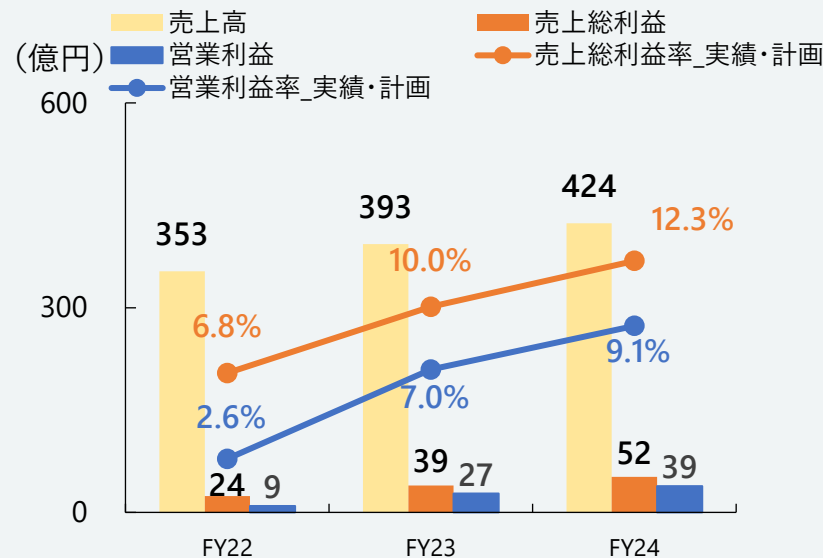
4-2. 【前田道路 連結 建設事業】 受注高、売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY24 1Q 豊富な繰越工事、および受注時利益率の改善により**前年同期比増収増益**
- FY24通期 受注時利益率を重視した営業活動を継続し、利益率向上を目指す

受注高※1

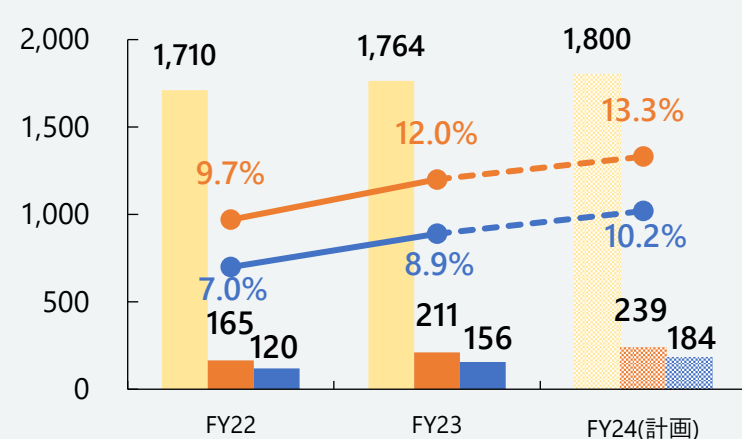
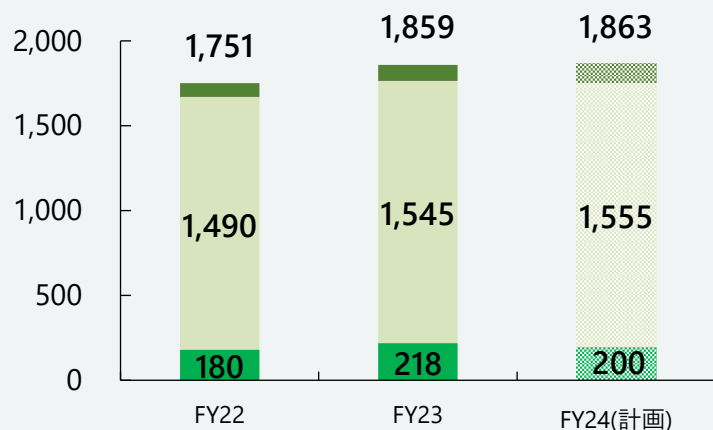


売上高と売上総利益※1



第1四半期

通期



※1 従来の前田道路の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

※2 その他：関連会社の受注高（主に官庁工事）及びセグメント内取引消去高

建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

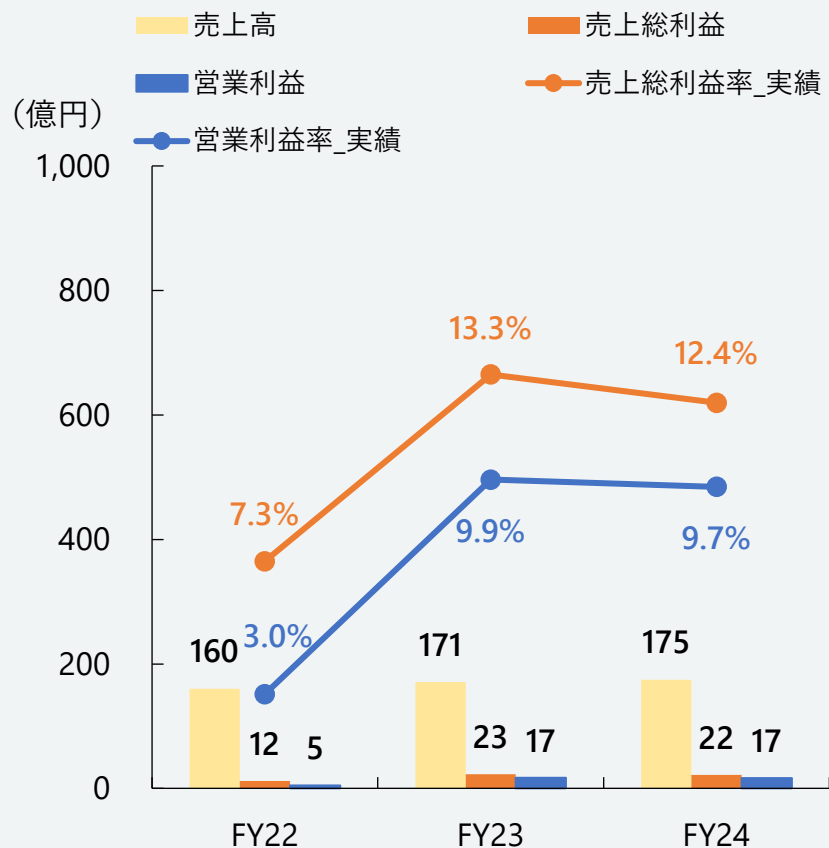
舗装

機械

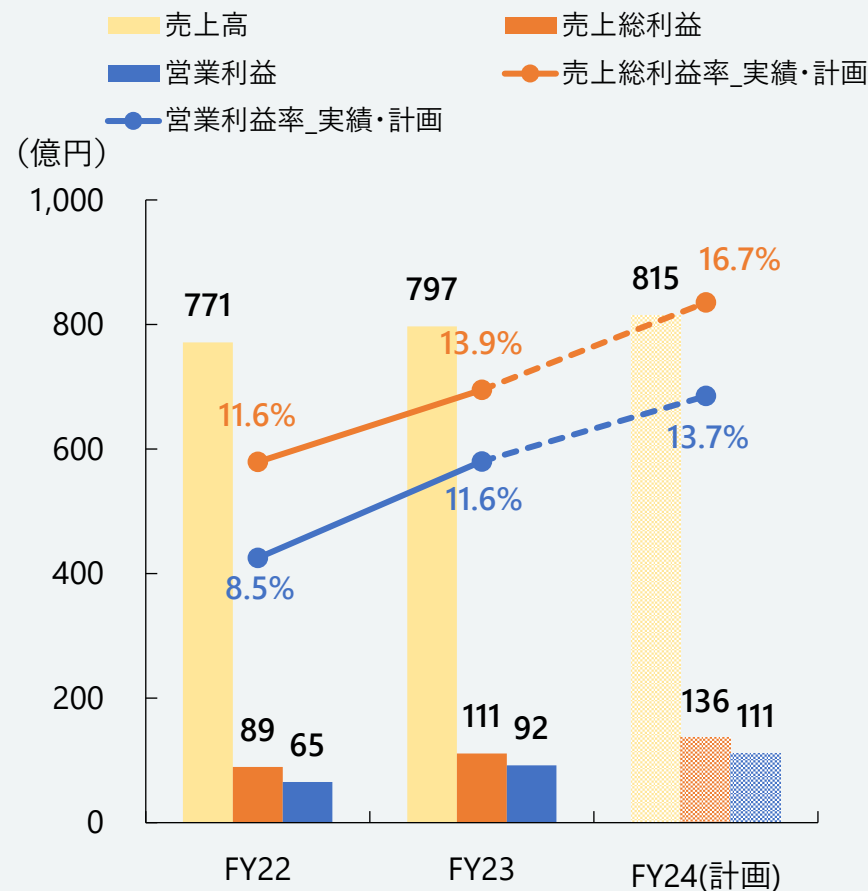
4-3. 【前田道路 連結 製造販売事業】 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY24 1Q 想定以上の円安による原材料費高騰分を吸収できず前年同期比減益
- FY24通期 外部環境に応じた適切な合材販売単価の設定
および破碎事業の採算性向上を図ることで、利益率確保に努める

第1四半期



通 期※



※上記数値は、前田道路の従来連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

舗装

機械

セグメント別ハイライト

建築
前田建設

土木
前田建設

インフラ運営
前田建設（連結）

インフラ運営
日本風力開発（連結）

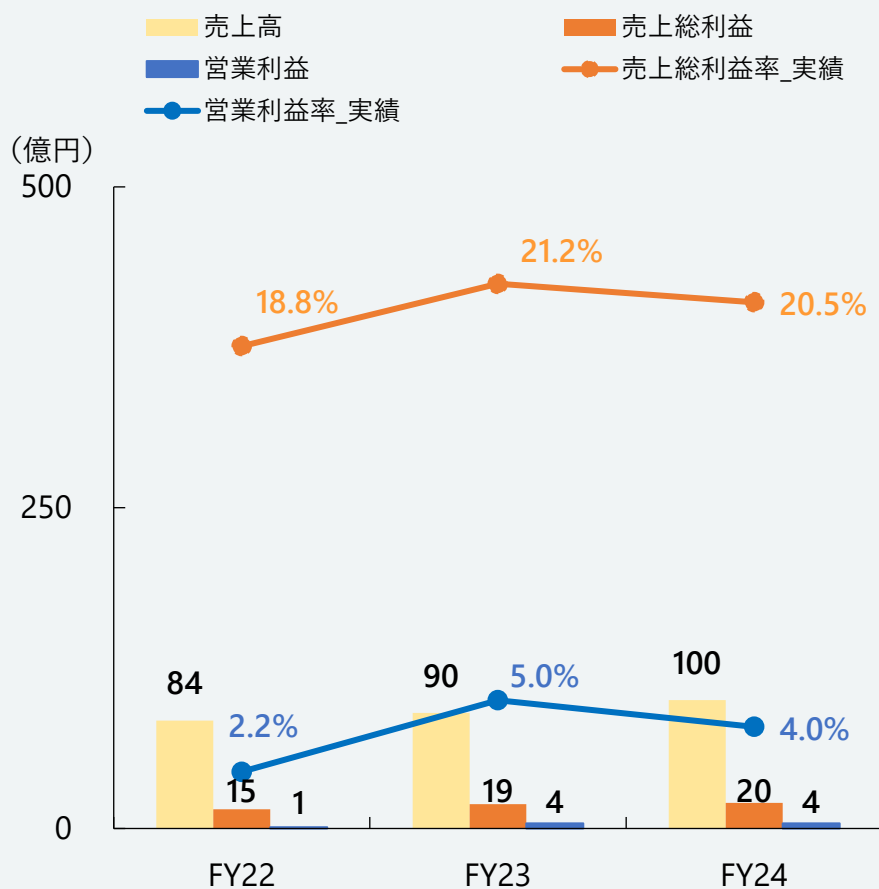
舗装
前田道路（連結）

機械
前田製作所（連結）

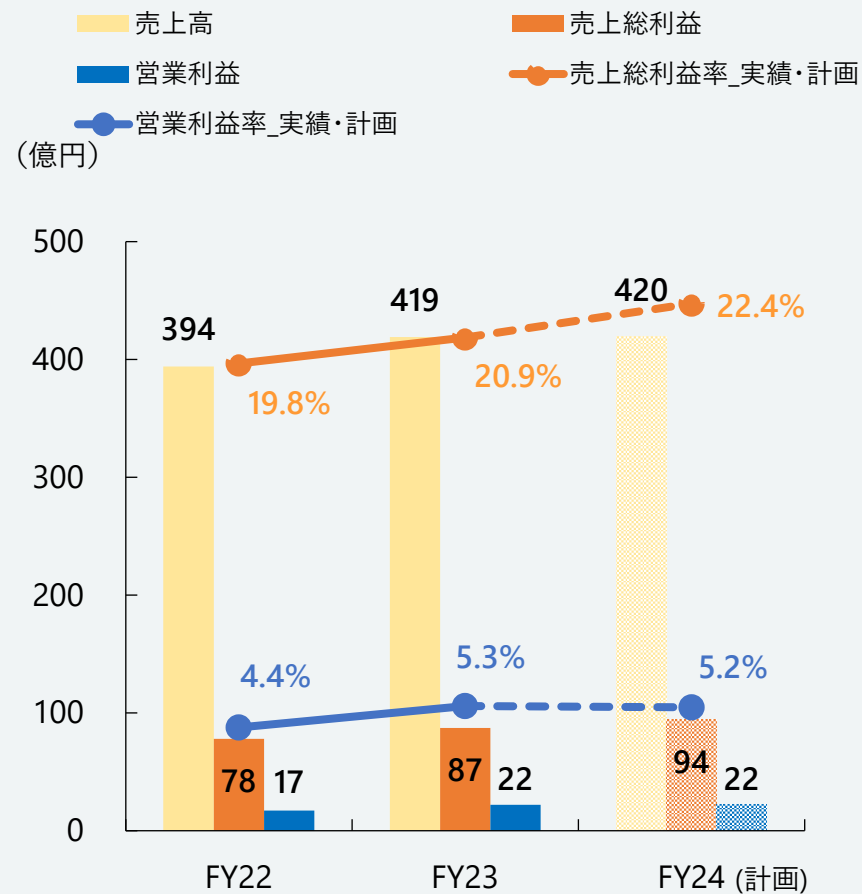
5-1. 【前田製作所 連結】 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY24 1Q コマツ製品及びクローラクレーン、個別受注品の販売が堅調に推移し**前年同期比増収**
効率化によるコスト低減や価格改定を図るも、費用が上がり利益率は減少
- FY24通期 受注状況から売上高は前年並み、コスト低減や価格改定により売上総利益は増加を見込んでいる

第1四半期



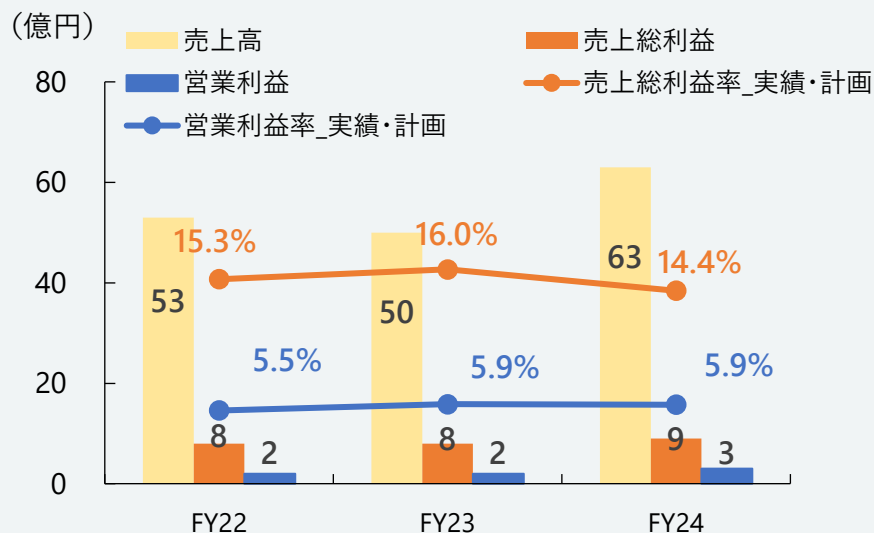
通期



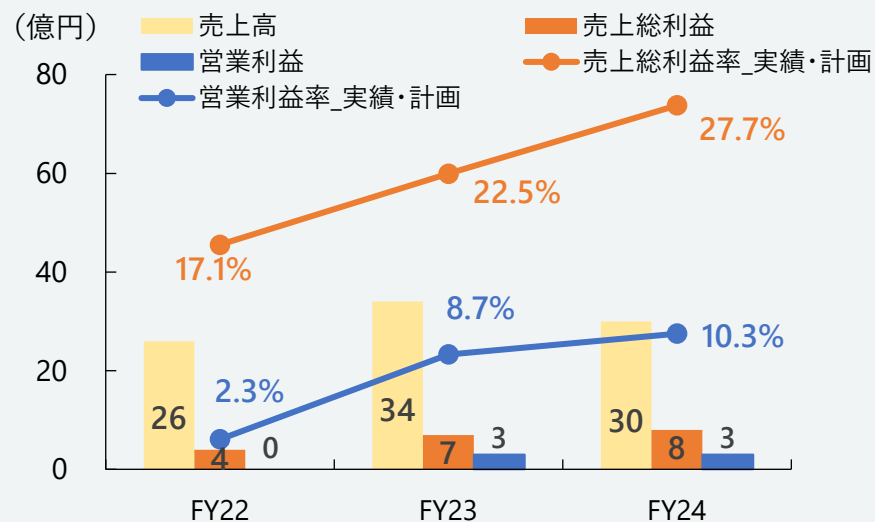
5-2. 【前田製作所 建設機械、産業・鉄鋼機械】 売上高、売上総利益、営業利益の推移※1

- FY24 1Q 建設機械では、大型機械の売上が伸長し、**前年同期比増収**。産業・鉄構機械等では、売上高は減少したものの、効率化によるコスト低減により**総利益が増加**
- FY24通期 足元の受注状況から、**通期業績は達成**する見込み

建設機械※2

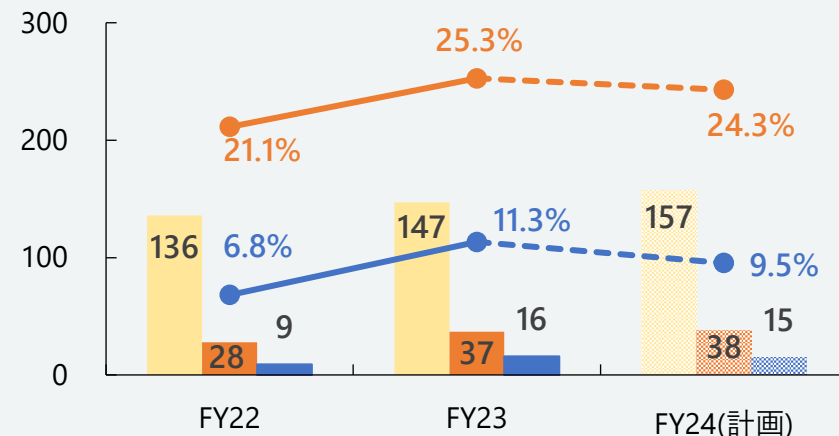
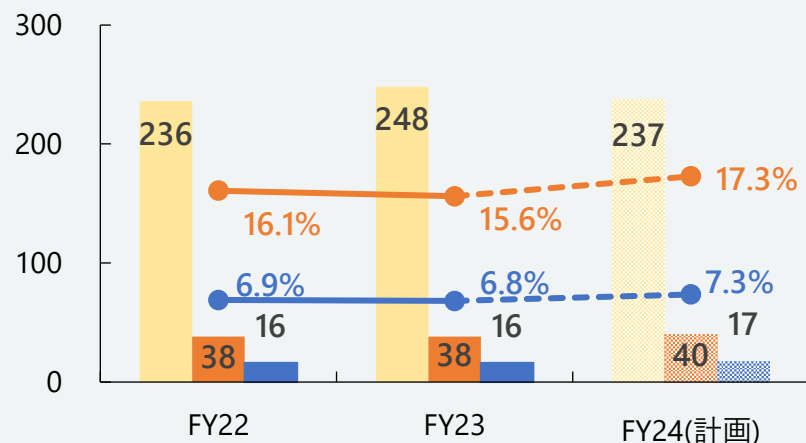


産業・鉄構機械等※3



第1四半期

通期



※1 機械セグメントの内、主要事業である建設機械事業、産業・鉄構機械等事業の数値

※2 コマツ製品の販売・サービス・レンタルを主体とした事業

※3 クレーン等自社製品の設計・製造・販売を主体とした事業

建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

舗装

機械

業績数值

1. 前田建設【個別】 FY24 1 Q実績と通期計画（インフラ運営のSPCは含まず）

INFRONEER Holdings Inc.

(億円)

		FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	前年 同期比	FY24 通期計画	進捗率
売上高		840	914	74	4,584	19.9%
建築	計	487	603	116	2,985	20.2%
	国内	487	587	101	2,925	20.1%
	海外	1	16	15	60	26.0%
土木	計	348	306	△ 42	1,503	20.4%
	国内	347	306	△ 41	1,502	20.4%
	海外	1	0	△ 1	1	35.0%
インフラ運営		0	1	0	81	0.9%
不動産		4	4	△ 0	15	27.1%
売上総利益		111 (13.2%)	97 (10.6%)	△ 15	681 (14.9%)	14.2%
建築	計	33 (6.7%)	42 (7.0%)	10	313 (10.5%)	13.5%
	国内	33 (6.7%)	40 (6.9%)	8	307 (10.5%)	13.1%
	海外	0 —	2 (13.1%)	2	6 (10.0%)	34.2%
土木	計	76 (21.8%)	52 (16.8%)	△ 24	280 (18.6%)	18.4%
	国内	76 (21.9%)	52 (16.8%)	△ 24	280 (18.7%)	18.4%
	海外	△ 0 —	△ 0 —	0	△ 0 (-25.0%)	6.9%
インフラ運営		0 (90.4%)	1 (91.1%)	0	81 (100.0%)	0.8%
不動産		2 (50.4%)	2 (48.8%)	△ 0	7 (46.7%)	28.4%
一般管理費		78 (9.3%)	88 (9.6%)	10	358 (7.8%)	24.6%
営業利益		33 (3.9%)	8 (0.9%)	△ 25	323 (7.0%)	2.6%
経常利益		50 (6.0%)	34 (3.7%)	△ 17	339 (7.4%)	9.9%
当期純利益		38 (4.5%)	30 (3.3%)	△ 8	248 (5.4%)	12.3%

2. 前田道路【連結】 FY24 1 Q実績と通期計画

INFRONEER Holdings Inc.

(億円)

	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	前年 同期比	FY24 通期計画	進捗率
売上高	566	598	32	2,615	22.9%
建設事業	393	423	30	1,800	23.5%
製造販売	171	173	1	815	21.2%
その他	2	2	0	-	-
売上総利益	63 (11.1%)	74 (12.3%)	11	375 (14.3%)	19.7%
建設事業	39 (10.0%)	51 (12.0%)	11	239 (13.3%)	21.3%
製造販売	23 (13.3%)	22 (12.8%)	△ 1	136 (16.7%)	16.2%
その他	1 (32.7%)	1 (35.6%)	0	-	-
一般管理費	36 (6.4%)	42 (7.0%)	6	178 (6.8%)	23.6%
営業利益	27 (4.7%)	32 (5.3%)	5	197 (7.5%)	16.1%
経常利益	28 (4.9%)	33 (5.5%)	5	199 (7.6%)	16.6%
当期純利益	20 (3.5%)	22 (3.7%)	2	132 (5.0%)	16.6%

3. 前田製作所【連結】 FY24 1 Q実績と通期計画

INFRONEER Holdings Inc.

(億円)

	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	前年 同期比	FY24 通期計画	進捗率
売上高	90	100	10	420	23.9%
建設機械	50	63	13	237	26.8%
産業・鉄鋼機械等	34	30	△ 4	157	19.7%
介護用品・その他	5	5	0	25	23.1%
売上総利益	19 (21.2%)	20 (20.5%)	1	94 (22.4%)	21.9%
建設機械	8 (16.0%)	9 (14.4%)	1	40 (17.3%)	22.4%
産業・鉄鋼機械等	7 (22.5%)	8 (27.7%)	1	38 (24.3%)	22.4%
介護用品・その他	3 (60.9%)	2 (49.0%)	△ 1	14 (58.4%)	19.4%
一般管理費	14 (16.2%)	16 (16.5%)	2	72 (17.1%)	23.1%
営業利益	4 (5.0%)	4 (4.0%)	0	22 (5.2%)	18.1%
経常利益	5 (5.9%)	5 (5.2%)	0	23 (5.5%)	22.7%
当期純利益	4 (4.8%)	3 (3.7%)	△ 1	15 (3.6%)	24.5%

4. 日本風力開発【連結】 FY24 1 Q実績と通期計画

INFRONEER Holdings Inc.

(億円)

	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	前年 同期比	FY24 通期計画	進捗率
売上高	—	9	—	87	10.8%
開発	—	4	—	64	7.0%
O&M	—	5	—	20	23.1%
その他	—	0	—	4	10.8%
売上総利益	—	1 (11.8%)	—	55 (62.6%)	2.0%
開発	—	△ 0 (-6.9%)	—	44 (68.4%)	-0.7%
O&M	—	1 (29.1%)	—	10 (51.6%)	13.0%
その他	—	0 (21.9%)	—	1 (24.9%)	9.5%
一般管理費	—	10 (110.9%)	—	39 (45.1%)	26.6%
営業利益	—	△ 9 (-99.1%)	—	15 (17.5%)	-61.1%
経常利益	—	△ 10 (-107.2%)	—	15 (17.7%)	-65.4%
当期純利益	—	△ 11 (-119.1%)	—	10 (11.2%)	-114.5%

5.主なグループ会社のFY24の1Q実績と通期計画

- FY24通期 エフビーエスは2Q以降、受注案件の見込みにより回復基調あり、
フジミ工研及びJMは物価高騰分を2Q以降に回収できるため、各社とも**通期計画を達成**する見込み

前田建設工業

(百万円)

連結子会社 (その他セグメント)	(株)エフビーエス ※1			フジミ工研(株) ※1			(株)JM ※2		
	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	FY24 通期計画	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	FY24 通期計画	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	FY24 通期計画
売上高	3,012	3,454	16,000	2,733	2,373	13,490	5,377	5,348	26,000
営業利益	81	-23	250	-93	-134	513	61	-100	600
経常利益	88	-12	267.3	-68	-96	587	61	-98	620
当期純利益	52	-5	174.8	-63	-91	401	49	-88	340

持分法 適用会社	東洋建設(株) ※2			光が丘興産(株) ※2		
	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	FY24 通期計画	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	FY24 通期計画
売上高	37,749	29,444	165,000	955	1,079	4,000
営業利益	509	-462	10,000	177	289	610
経常利益	244	-529	9,700	1,631	1,222	2,340
当期純利益	214	90	7,000	1,316	989	1,670

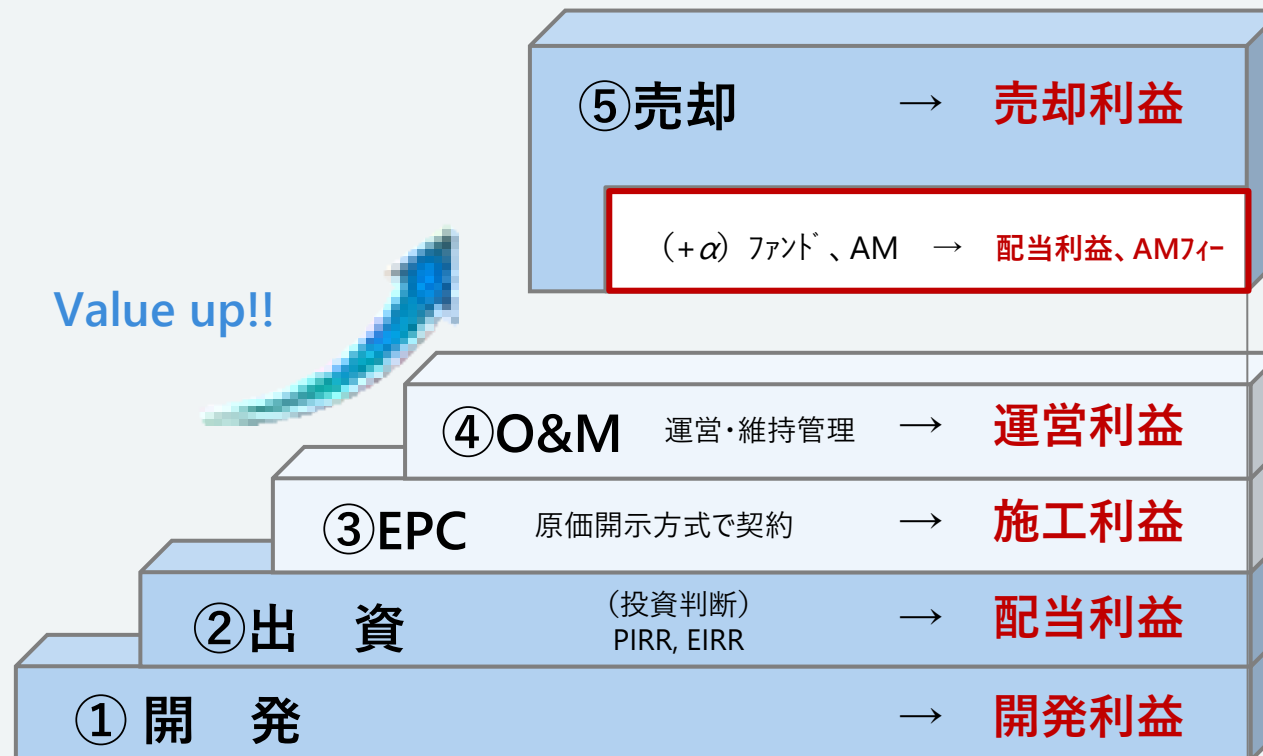
※1 日本基準・各社の連結

※2 日本基準・単体

【補足資料】 インフラ運営事業のビジネスモデル

INFRONEER Holdings Inc.

- インフラ運営事業は、インフラの上流～下流（売却までを含める）までの全ての段階（①～⑤）で、収益を獲得するビジネスモデルである



- 事業から5段階 + αで収益を獲得
- 施工ノウハウの強みを活かす（開発、EPC、O&M）

【補足資料】 インフラ運営セグメント「利益貢献額」と「セグメント利益」の違いについて

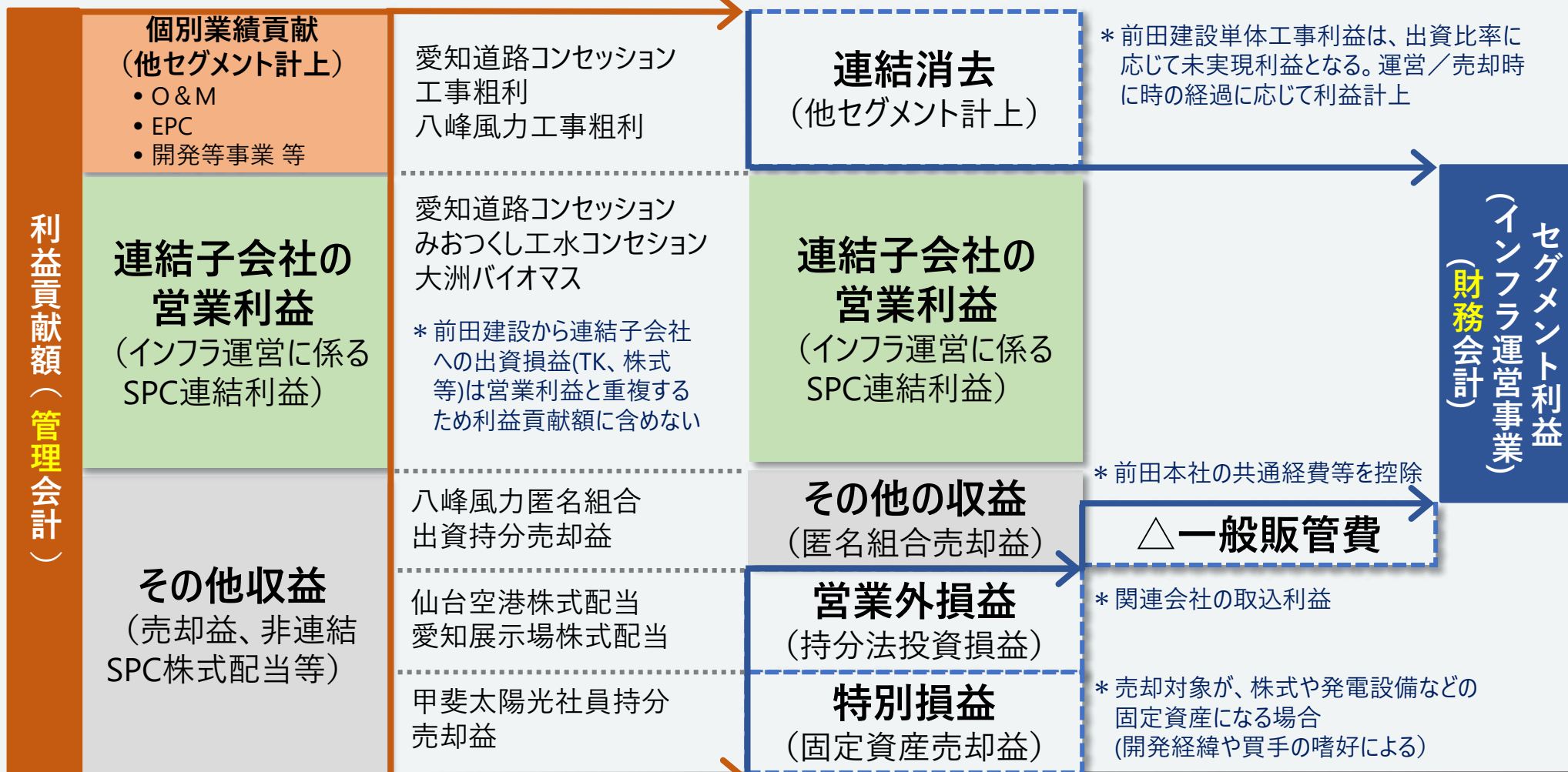
INFRONEER Holdings Inc.

- 「利益貢献額」は、連結子会社個別の工事粗利、その他収益、営業利益を合計した**管理会計上の実質的な貢献額**。出資比率や売却スキームにより、連結上の利益表示箇所が異なることを考慮したもの
- 連結財務諸表の「セグメント利益(インフラ運営事業)」は、利益貢献額に含まれる工事利益などを連結消去し、管理部門の共通経費を控除した**財務会計上の営業利益**で、営業外/特別損益を計上する前の値

セグメント利益との対応関係

(プロジェクト事例)

(財務会計上の整理)


 セグメント利益
(インフラ運営事業)
(財務会計)

※利益貢献額では、前田本社共通経費等の一般管理費を考慮していない

※1 O&M インフラ施設の運転保守管理業務等

※2 EPC インフラ運営事業に伴う新築工事 大規模修繕工事等

- ・GPIFが採用する4つのESGインデックスにて構成銘柄入り
- ・直近ではFTSE Blossom Japan Sector Relative IndexとMSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数に構成銘柄入りしており、サステナビリティの取り組み/開示の充実が評価されている

名称	総合型			テーマ型		
	FTSE Blossom Japan Index	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数	S & P/JPXカーボン・エフィシエント指数	MSCI 日本株女性活躍指数	Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数
構成銘柄への選定条件	FTSEスコア3.3以上	気候ガバナンスと気候変動に関する取組において各セクター上位50%、 <u>FTSEスコア2.0以上</u>	MSCI社により作成された親指数（MSCI日本株IMI指数）構成銘柄の中で、 <u>各業種からESGに優れた企業を選別して構成</u>	TOPIX(約2,150銘柄)のうち、環境への取組・開示が不十分、 <u>ESGリスクがある銘柄を除外(ネガティブスクリーニング)</u>	時価総額上位700銘柄のうち、性別多様性スコア(MSCI開発)が優れた企業を選定	Morningstar日本株式指数の内、 <u>セクハラ・性差別等の実績がある銘柄を除外</u> 、取組のレベルに応じて1~5グループに分類
銘柄数	約350銘柄	約650銘柄	約500銘柄	約1,850銘柄	約300銘柄	約1,000銘柄
インプロニア	2025年度予定	<u>2024/06~構成銘柄入り</u>	<u>2023/12~構成銘柄入り</u>	構成銘柄入り	—	構成銘柄入り(グループ3)

News1

YouTubeチャンネル「馬淵磨理子の株式クラブ」に出演しました！

【インフロニアHD】日本風力開発を完全子会社化。
上場企業の代表が語るインフラ運営事業の未来の価値

この度、インフロニア・ホールディングス株式会社がYouTubeチャンネル「馬淵磨理子の株式クラブ」にて、昨年9月に引き続き紹介されました。日本風力開発の買収を行ったインフロニアの未来の価値の考え方や戦略について、当社社長である岐部より詳説いたしました。是非ご覧ください！



YouTube



YouTube URL : <https://www.youtube.com/watch?v=yzmxBiW6E-c&t=85s>



News2

公式Instagram、Facebook 広報ライブラリ「InfroneerAtoZ」

- インフラの未来に挑戦するインフロニアパーソンの姿や建設現場あるある漫画をInstagramで発信しています。
- Facebookではセミナーや講演などのお知らせを中心に情報発信を行っています。
ぜひ各SNSフォロー&いいね！をお願いします。
- 当社webサイト、広報ライブラリ「Infroneer AtoZ」に掲載の社長岐部の対談もぜひご覧ください。

InfroneerAtoZ URL : <https://www.infroneer.com/jp/company/atoz/>



Instagram

Instagram URL : <https://www.instagram.com/infroneer.hd/>



Facebook

Facebook URL : <https://www.facebook.com/infroneer.hd/>

News3

Kibe-log 岐ベログ

インフロニア・ホールディングスが何を考え、どういう社会の実現を目指しているのかを全てのステークホルダーにお伝えるため、社長の岐部が考えていることを発信していきます。



岐ベログ

岐ベログURL : <https://www.infroneer.com/jp/company/topblog.html>

～バックナンバー～

- 第8回 : 日本のインフラに必要なアベイラビリティ・ペイメント
- 第9回 : インフロニアがめざすデジタルの世界
- 第10回 : チャレンジする社風
- 第11回 : ヘルメット時代に学んだ技術と金融の融合
- 第12回 : 仕事の自由と説明責任
- 第13回 : 日本風力開発を買収した理由
- 第14回 : バリュエーション（価値評価）の裏側にある思想

【注意事項】

本資料に記載されている業績数値は、決算短信の数字を億円単位とし、四捨五入しております。
また、業績計画等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。

インフラの未来に挑む
Challenge the status quo

 **INFRAFRONTIER Holdings Inc.**